文本

特 71186 号

官報 第七千百八十六號　明治四十年六月十四日　金曜日　印刷局

○勅令

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ外國船舶檢査規則中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十年六月十三日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
遞信大臣　山縣伊三郎

勅令第二百二十八號

外國船舶檢査規則第一條第一項中「百人」ヲ「五十人」ニ改メ「近海航路外ノ港」ノ下ニ「又ハ遞信大臣ノ定ムル地方」ヲ加フ

附則

本令ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

○省令

遞信省令第二十七號

船舶檢査法施行細則第十一條第一項第一號中「百人」ヲ「五十人」ニ改メ「近海航路外ノ港」ノ下ニ「又ハ別ニ定ムル地方」ヲ加フ

本令ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年六月十四日　遞信大臣　山縣伊三郎

○府令

關東都督府令第三十四號

明治三十九年七月關東洲民政署令第二十五號人力車營業取締規則中左ノ通改正ス

明治四十年六月一日　關東都督　男爵大島義昌

第十九條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

取締人ハ互選ニ依ラス民政署長又ハ支署長ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ指定スルコトアルヘシ

關東都督府令第三十五號

明治三十九年十一月府令第三十四號大連水道維持費用負擔額左ノ通改正ス

本令ハ明治四十年六月分ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年六月一日　關東都督　男爵大島義昌

大連水道維持費用負擔額

給水栓種別	給水管內徑	給水栓一箇所一箇月ニ對スル負擔額		
		廳舍宿舍用等	工場營業用等	
專用（炊事又ハ浴室用）	一吋以上未滿	四〇〇〇	一〇〇〇〇	
	二吋以上未滿	三〇〇〇	八〇〇〇	
同（便所用）	一吋以上未滿	二五〇〇	五〇〇〇	
	二吋以上未滿	二〇〇〇	四〇〇〇	
共用	一吋以上未滿	一五〇〇	三〇〇〇	
	二吋以上未滿	一〇〇〇	二三〇〇	
汽鑵又ハ水槽用	二吋以上未滿		四〇〇〇	
			二五〇〇	

關東都督府令第三十六號

關東都督府陸軍軍法會議設置及其ノ管轄區域ニ關スル規定第二條ヲ左ノ通改正ス

明治四十年六月一日　關東都督　男爵大島義昌

第二條　軍法會議ノ管轄ハ鞍山站以南ニ於ケル被告事件ハ旅順ニ於テ鞍山站以北（鞍山站ヲ除ク）及安奉鐵道沿線ニ於ケル被告事件ハ遼陽ニ於テ審判ス

管轄不明ナルトキ若ハ重複スルトキハ關東都督之ヲ指定ス

○訓令

内務省訓令第十號

樺太廳職員旅費規則左ノ通相定ム

明治四十年六月十四日　　樺太廳

内務大臣　原敬

樺太廳職員旅費規則

第一條　文官判任以上ノ者樺太内旅行ノ場合ニハ第一號表ニ依リ旅費ヲ支給ス

第二條　囑託員及雇員ノ内地及樺太内旅行ノ場合ニハ月俸又ハ月手當百圓以上ヲ受クル者ハ奏任官四十五圓以上ヲ受クル者ハ判任官ノ旅費ヲ支給ス

第三條　囑託員及雇員ノ日給者若ハ四十五圓未滿ノ月俸又ハ月手當ヲ受クル者及巡査ノ内地及樺太内旅行ノ場合ニハ第二號表ニ依リ旅費ヲ支給ス

第四條　傭人ノ内地及樺太内旅行ノ場合ニハ第三號表ノ旅費ヲ支給ス但シ諸職工人夫等其ノ業ニ從事シ賃錢ヲ受クル日ハ旅費ノ一部ヲ支給シ又ハ全ク之ヲ支給セサルコトヲ得

第五條　囑託員、雇員及巡査ノ轉勤スル場合ハ内國旅費規則第十七條ノ例ニ依ル

第六條　測量、巡視、踏査等ノ爲現場ヲ巡廻スル者及平常旅行ヲ要スル者ニ對シテハ樺太廳長官ハ豫メ月額又ハ日額ヲ定メ旅費ヲ減スルコトヲ得

前項巡廻旅行ト普通旅行トノ同日内ニ重リタルトキハ普通旅費ヲ支給ス

第七條　文官判任以上ノ者樺太ニ赴任スル場合ニハ當分ノ内第四號表ノ支度料ヲ支給ス

第八條　囑託員、雇員及巡査樺太ニ赴任スル場合ニハ當分ノ内第五號表ノ支度料ヲ支給ス

第九條　内地ヨリ樺太ニ旅行スル者ハ樺太最初ノ著船地迄ヲ内地旅行トシ樺太ヨリ内地ニ旅行スル者ハ樺太最後ノ乘船地迄ヲ樺太旅行トシテ各其ノ旅費ヲ支給ス但シ内地ヨリ樺太ヘ著船當日ハ樺太旅費ノ日當樺太ヨリ内地ヘ乘船當日ハ内國旅費ノ日當ヲ支給ス

第十條　樺太廳職員判任以上ノ者勤續二年以上ニシテ廢官、退官（自己ノ便宜及懲戒ニ依ル退官ヲ除ク）若ハ休職トナリ三十日以内ニ樺太ヲ出發シ歸鄉スルトキハ内國旅費規則ノ定額ニ依リ前官又ハ本官相當ノ旅費ヲ支給ス

第十一條　既ニ歸鄉旅費ノ支給ヲ受ケ三十日以内ニ出發歸鄉セサル者ハ之ヲ返納セシム

第十二條　在職中死亡シタルトキハ其ノ勤續年月數ニ拘ラス第十條ニ準シ歸鄉旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス

第十三條　内地ニ旅行中廢官、退官（自己ノ便宜及懲戒ニ依ル退官ヲ除ク）若ハ休職トナリ又ハ死亡シタルトキハ其ノ旅行ノ公務ナルト私事ナルトヲ問ハス第十條ノ旅費又ハ第十二條ノ支給金ノ半額ヲ支給ス

第十四條　巡査ニシテ誓約期限後退職（懲戒ニ依ル退職ヲ除ク）シ三十日以内ニ樺太ヲ出發歸鄉スル者ニハ第二號表内地ノ定額ニ依リ旅費ヲ支給ス

第十五條　巡査ニシテ素職中死亡シタルトキハ左ノ例ニ依リ歸鄉旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス

一　樺太内ニ於テ死亡シタルトキハ其ノ全額

二　内地ニ旅行中死亡シタルトキハ其ノ半額

第十六條　囑託員及雇員ニシテ勤續滿五年以上ニシテ官ノ都合ニ依リ解職トナリ三十日以内ニ樺太ヲ出發シ歸鄉スルトキハ第二條第三條第十一條ノ例ニ準シ旅費ヲ支給スルコトヲ得

第十七條　囑託員及雇員ニシテ在職中死亡シタルトキハ第二條第三條第十二條ノ例ニ準シ歸鄉旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス

第十八條　囑託員及雇員ニシテ内地ニ旅行中官ノ都合ニ依リ解職トナリタルトキハ第二條第三條第十三條ノ例ニ準シ旅費又ハ支給金ヲ支給スルコトヲ得

第十九條　歸鄉旅費及支給金ハ凡テ舊勤務地ヨリ原籍地迄ノ路程ニ應シ汽車賃、汽船賃及車馬賃ヲ支給シ日當、宿泊料ヲ支給セス

第二十條　本則第十條及第十六條ノ規定ハ本則施行ノ際樺太ニ在勤スル者ニ關シテハ本則施行前ヨリ在職年月數ニモ之ヲ適用ス

第二十一條　前各條ニ規定セサル事項ハ内國旅費規則ヲ適用ス

附則

本規則ハ明治四十年四月一日以降ノ旅行ニ適用ス

第一號表

等級	汽車賃一哩ニ付	船賃一海里ニ付	車馬賃一里ニ付	宿泊料一夜ニ付	日當一日ニ付	食事料一日ニ付
一等勅任官	二十錢	二十錢	八十錢	三圓五十錢	一圓五十錢	一圓五十錢
二等奏任官	十五錢	十五錢	六十錢	二圓五十錢	一圓	一圓二十錢
三等判任官	十錢	十錢	四十錢	一圓六十錢	七十錢	九十錢

第二號表

區分	汽車賃一哩ニ付	船賃一海里ニ付	車馬賃一里ニ付	宿泊料一夜ニ付	日當一日ニ付	食事料一日ニ付
内地	三錢	四錢	十錢	五十錢	三十錢	五十錢
樺太	七錢	七錢	三十錢	一圓	五十錢	五十錢

第三號表

區分	汽車賃一哩ニ付	船賃一海里ニ付	車馬賃一里ニ付	宿泊料一夜ニ付	日當一日ニ付	食事料一日ニ付
内地	二錢	三錢	七錢	二十錢	七十錢	三十錢
樺太	六錢	六錢	二十錢	七十錢	三十錢	三十錢

第四號表

等級	金額
一等勅任官	三百圓以内
二等奏任官	二百圓以内
三等判任官	百圓以内

第五號表

等級	金額
一等者	月俸又ハ月手當百圓以上ヲ受クル二百圓以内
二等者	月俸又ハ月手當四十五圓以上百圓未滿ヲ受クル者百圓以内
三等者	月俸又ハ月手當四十五圓未滿ヲ受クル者及巡査五十圓以内

○告示

文部省告示第百八十一號

商知縣知事ハ同縣幡多郡奥内村大字柏島ニ縣立正式警報信號標ヲ設置シ本月十日ヨリ揚卸開始ノ旨報告セリ

明治四十年六月十四日　　文部大臣　牧野伸顯

正誤

本月三日農商務省告示第百三十五號四行中「山品」ハ「巖」ノ誤

同四日同第百四十號七七頁上段四行「二二二〇」ハ「二二二〇」ノ誤植

農商務書記官

○叙任及辭令

○明治四十年六月十三日

任檢事　判事正五位勳六等　小山　溫

叙高等官二等　檢事正五位勳六等　小山　溫

兼任司法省監獄局長

叙高等官三等

任帝國鐵道廳技師　札幌農學校教授從六位　古藤　猛哉

叙高等官五等　上村　禎二

任奈良縣技師

叙高等官八等

熊本縣師範學校教諭ニ任ス　和歌山縣師範學校教諭從七位　直江　俊三

依願免兼官　司法次官兼司法省監獄局長法學博士　河村讓三郎

依願免本官　煙草專賣局技師　石阪剛二郎

林野整理審査會臨時委員被仰付　新山　莊輔

（各通）　馬政官　清野長太郎

京都府事務官　島田剛太郎

林野整理審査會臨時委員被免（以上六月十三日内閣）

年俸參拾圓下賜（六月十四日内務省）　奈良縣技師　上村　禎二

北海道石狩國上川郡永山村二百六十番地　秋葉　キン

故陸軍歩兵二等卒秋葉榮次明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百四拾圓ヲ賜フ

故陸軍二等計手尾辻佐一明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百五拾圓ヲ賜フ　鹿兒島縣川邊郡西南方村久志八十三番戶　尾辻　ムメ

故陸軍歩兵一等卒太田與三郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ賜フ　大阪市南區西濱南通三丁目九十九番地　太田のりゑ

故陸軍歩兵二等卒樋口喜一郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　兵庫縣三原郡廣田村ノ内中條村六百八番屋敷　樋口　きぬ

故陸軍輜重輸卒清水嘉十郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　奈良縣宇智郡宇智村大字今井五十番屋敷　清水　ヨネ

故陸軍歩兵二等卒大城庄吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ（以上六月十四日陸軍省）　沖縄縣國頭郡今帰仁間切運天村千七番地　大城　庄助

十級俸下賜　陸軍教授　加藤　玄智

免本職補歩兵第二十一聯隊中隊長　陸軍教授　加藤　玄智

（歩兵第二十一聯隊大隊副官陸軍歩兵大尉）　古川　忠義

第71186号

免本職補歩兵第二十一聯隊大隊副官　歩兵第二十一聯隊附陸軍歩兵中尉　川崎亨一
補對馬要塞砲兵大隊附　陸軍砲兵中尉　今村貞文
臺灣守備歩兵第六大隊中隊長陸軍歩兵大尉　筒井壽
（各通）　歩兵第八聯隊附陸軍歩兵少尉　荒木廣喜
歩兵第六十一聯隊附陸軍歩兵少尉　田中信治

停職被仰付
退役被仰付（以上六月十日同）
免本職　陸軍歩兵少尉　内藤清次郎
待命被仰付（但佐世保ニ滞在スヘシ）　第二艦隊參謀海軍少佐　滋賀秀修
兼補白妙驅逐艦長　白雪驅逐艦長海軍少佐　増田幸一
免本職補龍田水雷長兼分隊長　磐手分隊長海軍大尉　田中吉太郎
免兼職　橫須賀水雷團副官海軍大尉　綾部清太郎
免本職補三日月驅逐艦長　白妙驅逐艦長海軍大尉　中桐啓太
免本職補海軍軍令部出仕　高千穂航海長海軍大尉　古賀賢吉
免本職補金剛分隊長　竹敷敷設隊分隊長海軍大尉　太田代恆藏
免本職竝兼職補第二艦隊參謀　高千穂水雷長兼分隊長海軍大尉　千城
龍田水雷長兼分隊長海軍大尉　關嘉明
免本職竝兼職補海軍水雷學校教官兼分隊長　小倉
兼補高千穂分隊長　高千穂砲術長海軍大尉　大坪一次
免本職補高千穂航海長兼分隊長　高千穂分隊長海軍大尉　坂倉幸利
免本職補見島分隊長　吳敷設隊分隊長海軍大尉　石井忠晴
兼補韓崎水雷長分隊長　第一灣水艇隊長海軍大尉　中島電三
免兼職　金剛航海長兼分隊長海軍大尉　長輔
免本職竝兼職補吳敷設隊分隊長　豐橋分隊長海軍大尉　唐澤忠祥
免本職補竹敷敷設隊分隊長　韓崎水雷長兼分隊長海軍大尉　森岡喜作
免本職補第十七艇隊艇長　橫須賀敷設隊分隊長海軍大尉　丹野武雄
免本職補磐手分隊長　佐世保敷設隊分隊長海軍大尉　日高祐吉
免兼職　富士分隊長海軍大尉　作田莊一
免本職補富士分隊長　見島航海長兼分隊長海軍大尉　電氣事務官　作田莊一
免本職補佐世保海兵團分隊長　對馬分隊長海軍大尉　電氣事務官　浦太郎
免本職補橫須賀水雷團副官　高千穂分隊長海軍大尉　辻麻田　吉田豁
第十七艇隊艇長心得被免豐橋分隊長心得被仰付　友輔
補橫須賀敷設隊分隊長兼橫須賀水雷團副官　海軍中尉　佐々木逞酒三
高千穂分隊長心得被免對馬分隊長心得被仰付　海軍大尉　古賀琢一
佐世保海兵團分隊長心得被免金剛分隊長心得被仰付　海軍中尉　土方鎮雄
高千穂乘組被免香取乘組被仰付　海軍中尉　松山茂
龍田乘組被免見島乘組被仰付　海軍少尉　秋山虎六
韓崎乘組被仰付　海軍少尉　井上肇治
高千穂乘組被免鹿島乘組被仰付　海軍少尉　水落高五郎
高千穂乘組被免扶桑乘組被仰付　海軍少尉　杉本美海
海軍少尉　貝沼門次郎
海軍少尉　森繁二
海軍少尉　高木嘉瀛
海軍少尉　永瀬俱次郎
海軍機關中佐　吉松稜威麿
海軍機關長兼姉川機關長　平野伊三郎
海軍機關中佐　山崎道之助
海軍機關長兼高千穂機關長　岩崎敬雄
海軍機關中佐　中井銀次郎
日進乘組被免見島乘組被仰付　村尾履吉
香取乘組被免見島乘組被仰付　福中鐵三郎
免本職補丹後機關長兼阿蘇機關長　島田誠
免兼職　春日機關長兼姉川機關長　新田義德
免本職補宗谷機關長兼高千穂機關長　伊藤信作
免本職竝兼職補佐世保海兵團機關長　龍瀛
免本職補日進機關長　沖島機關長海軍機關中佐　古池
高千穂機關長心得被免沖島機關長心得被仰付　岩崎敬雄
免兼職兼補滿州機關長分隊長　中井銀次郎
免本職補姉川機關長兼赤城機關長分隊長　村尾履吉
免本職補相摸分隊長　橫須賀海兵團分隊長海軍機關大尉　福中鐵三郎
免本職補橫須賀海兵團分隊長　高千穂分隊長海軍機關大尉　島田誠
免兼職　周防分隊長兼相摸分隊長海軍機關大尉　新田義德
免本職竝兼職補阿蘇分隊長　丹後分隊長心得海軍機關中尉　伊藤信作
兼阿蘇分隊長心得被免　佐藤　龍瀛
春日乘組被免對馬乘組被仰付　筒井鐵一　古池
免本職　竹敷要港部附海軍機關少尉　佐藤怒　村尾履吉
待命被仰付（但橫須賀ニ滞在スヘシ）　海軍機關少尉　嘉明　岩崎敬雄
高千穂乘組被免磐手乘組被仰付　海軍機關少尉　奥村憲三　中井銀次郎
免高千穂乘組被免富士乘組被仰付　海軍機關少尉　社本第三　平野伊三郎
免高千穂乘組舞鶴海兵團附　海軍機關少尉　武邦　山崎道之助
免本職補佐世保水雷團主計長　海軍少軍醫　氏家孝次郎　岩崎敬雄
免本職補旅順海軍工作部主計長　高橋敏二郎　村尾履吉
免本職補旅順海軍經理部部員　柴田義之助　福中鐵三郎
免本職補旅順海軍經理部部員　長　連武　島田誠
免本職補竹敷要港部附　江口莊二郎　新田義德
免本職補吳海軍工廠需品庫員　刑部齊　伊藤信作
免本職補乘組補橫須賀水雷團附　石井文作　龍瀛
免高千穂乘組補橫須賀水雷團附　勢丈八　古池
朝日乘組被免海軍艦政本部附被仰付　久井德太郎　鎮一
海軍艦政本部附被免朝日乘組被仰付　安藤駒吉　怒
橫須賀豫備艦部附海軍筆記長　筒井
兼橫須賀海軍港務部附被仰付（以上六月十三日海軍省）　佐藤
四級俸下賜　大審院檢事　檢事　小山　溫
文官普通試驗委員ヲ命ス　司法省監獄局長　小山　溫
文官普通試驗委員ヲ解ク　司法省監獄局長　小山　溫
監獄事務官法學博士

文官普通懲戒委員ヲ解ク（以上六月十三日司法省）　監獄法學博士　小河滋次郎
四級俸下賜　統計課長ヲ命ス（以上六月十一日農商務省）　統計事務官　吳文聰
大臣官房統計課長ヲ命ス　統計事務官　吳文聰
大阪下關兩郵便爲替貯金管理支所ヘ出張ヲ命ス　通信事務官補　小西甚太郎
山口縣吉敷郡岐波村ヘ出張ヲ命ス　海事局技師　塚越禮藏
八級俸下賜　電氣事務官　作田莊一
通信局電氣課勤務ヲ命ス（以上六月十一日遞信省）　電氣事務官　作田莊一
御用有之滯京ヲ命ス（六月十日關東都督府）　關東都督府事務官　浦太郎
關東都督府郵便電信局旅順支局長ヲ命ス（五月十日同）　關東都督府通信事務官補　吉田豁
御用有之轉地療養地金澤市ヨリ上京ヲ命ス　地方法院判官關東都督府法院判官　佐藤喜多松
高等法院判官關東都督府法院判官　眞鍋十藏
御用有之歸省地京都市ヨリ上京ヲ命ス（以上五月十一日同）　關東都督府技師　有田彥信
賜六級俸（六月同）　關東都督府技師　清水淳
十級俸下賜（但當分年俸七百弐拾圓下賜）（六月八日）　岡山縣學校教諭師範　黑澤艮平
八級俸下賜（但當分年俸八百四拾圓給與）（六月七日）　福岡縣立福岡農學校教諭　是永久磨雄
九級俸下賜（以上六月七日）　福岡縣立福岡農學校教諭　大坪敎信
年俸六百圓下賜（五月二十二日）　大分縣水產試驗場技師

○宮廷錄事

○皇后宮行啓　皇后陛下ハ御豫定ノ如ク昨十三日午前十時御出門靖國神社境內能樂堂ヘ行啓午後五時三十五分還御アラセラレタリ
○皇族發著　邦憲王殿下ハ一昨十二日御出發　神宮ヘ御參向アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○横濱駐在濠匈國總領事御認可　領事ドミニック、キラリー、ド、ファトマール（Dominique Kirally de Fatmar）横濱駐在濠洲地利匈牙利國總領事ニ任命セラレタルニ付キ本月十日其職務執行ニ對スル御認可狀ヲ發セラレタリ
○長崎駐在丁國領事賜暇歸國　長崎駐在丁抹國領事エスリングル四箇月間ノ賜暇ヲ以テ發朝ノタメ歸國ニ付キ其不在中ビーシェリーバックランド（P. J. Buckland）同領事館ノ事務ヲ處辦スヘキ旨同國外交事務官ヨリ水月七日附ヲ以テ通知アリ
○官吏發著　地理實査ノタメ秋田縣下仙北及平鹿地方（出張ノ川村歩兵第十六旅團長ハ本月七日、盛ニ上京ノ第十六師團參謀長宮崎祿交及會議ノタメ上京ノ第十一師團參謀長齋藤力三郎ハ同八日執モ歸著）○一月歩兵第一旅團長ハ歩兵第一聯隊教育視察ノタメ千葉縣習志野原ニ向ヒ同十日、陸水第九師團長ハ演習地地理實査ノタメ大聖寺及小松地方ニ向ヒ、渡邊歩兵第三十一旅團長ハ地理實査ノタメ奈良地方ニ向ヒ同十一日執モ出發セリ　○鹿木子蘇湯總督秘書官齋藤參吉ハ昨十三日執モ出發歸任セリ　○鹿木子蘇湯總督府通信局長ハ同日上京セリ　○盛岡縣事務官中村介一ハ昨十二日出發歸任セリ

判決

○特許局審決　判決　ゼームス、ジョーン、セッドロックヨリ願書番號第三二二四六號人造燃料製造法特許願ニ對スル特許局審査官ノ拒絕再査定ニ服セス審判請求事件ニ付キ本月五日特許局ニ於テ左ノ如ク審決セリ

第一〇五四號　審決書

英國コールチエスター在リツル、ベントリー
請求人　ゼームス、ジョーン、セッドロック
東京市麹町區八重洲町一丁目一番地
右代理人　ウオルター、オーガス
特許代理業者　タスデハビランド

右ゼームス、ジョーン、セッドロックヨリ願書番號第三二二四六號人造燃料製造法特許願ニ對スル特許局審査官ノ拒絕再査定ニ服セス審判請求ノ理由ハ本願拒絕ノ要旨ハ本願製造方法ニ付キ記載セル西暦千九百四年發行ノ英國化學工業雜誌第八一六頁及同年米國特許第七七四七〇五號ヲ記載セル米國特許公報ハ本願出願前ニ本邦ニ輸入セラレ特許局圖書館ニ備付ケ公衆ノ閲覽ニ供シ既ニ帝國內ニ在テ公知ニ屬セシメラレタルモノナルヲ以テ何時何人カ之ヲ閲覽シタルヤノ具體的立證ヲ要スシテ其ノ公知ヲ推定スルニ足ルヘク即チ本願ハ特許法第二條第四號ニ該當シテ特許セラルヘキモノニアラスト云フニアレトモ凡ソ利行物ノ記事ヲ以テ公知ノ條件タラシムルニハ其ノ記事又ハ圖畫ニ依リ他人カ其ノ發明ヲ實施スルニ足ルヘキ要スルヤ當然ナリ然ルニ前記英國化學工業雜誌第八一六頁ニハ出願人カ佛國ニ於テ特許ヲ受ケタル第三四〇九八一號ノ發明ノ原理ヲ極メテ簡單ニ記載セルニ止マリ之ニ依リ本發明ノ性質及目的ヲ知悉スルニ足ラス即チ該雜誌ノ記事ニ依リ他人カ本發明ヲ實施スル能ハサルモノトス次ニ凡ソ特許法ニ所謂公知ナル事實ハ推定或ハ臆定ニ依リ妄リニ斷定ス可キ性質ノモノニアラス然ルニ本願ト同一ノ發明ニ關スル米國特許第七七四七〇五號ノ記載セル特許公報ハ其ノ發明ノ日本帝國內ニ於テ本願出願前公知ニ屬ストノ論ハ全ク推定ニ依リ公知ノ事實ト斷定セルモノナリ若審査官ニシテ公知ノ事實ハ根據トシテ特許拒絕ノ査定ヲナサントセハ必ヤ具體的事實ニ依リ之ヲ立證セサルヘカラス然ルニ審査官ノ此ニ出テサルハ不當ナリ一歩ヲ讓リ特許局圖書館ニ於テ公衆ノ閲覽ニ供セラルヘキモノニハ必ス其ノ公知ニ屬スルヲ認定シ得ヘシトスルモ凡ソ日本帝國內ニ於テ或記事ヲ以テ公表スタル日本帝國ニ於テ公衆ニ發表スル必要手段ヲ施サヽルモノナリ信ス之ヲ要スルニ審査官カ本願ニ對シ特許法第二條第四號ニ該當スヘキモノトナシタルハ不當ナリトハ云フニ在リ

審査官答辯ノ要領ハ請求人ノ主張ハ相立タスト雖決相成度其ノ理由ハ本願發明ヲ製造方法ハ西暦千九百四年發行ノ英國化學工業雜誌ハ一六頁及同年米國特許第七七四七〇五號ニ記載セル米國特許公報ノ記事ヲ閲覽スルトキハ自ラ其ノ發明ノ性質及目的等ヲ知悉シ得ヘク從テ之カ實施方法ノ如キハ何人ニモ容易ニ案出シ得ヘキモノト認メタリ故ニ該記事ヲ以テ本願發明ノ原理ヲ極メテ簡單ニ記載セルニ止マリ之ニ關スル本願ノ記事ハ公衆ノ閲覽ニ供シタルヲ以テ記事ノ內容カ公知ニ屬シタルコト明治三十七年九月十一日特許局圖書館閲覽規程ニ據リ之ヲ推定スヘキハ當然ニシテ敢テ具體的立證ヲ爲スノ要ナシ又該記事ヲ公ニ發表スルニハ必ス其ノ手段ヲ施サヽルヘカラスト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ審査シ審決ノ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

請求人ハ西暦千九百四年發行英國工業化學雜誌第八一六頁及米國第七七四七〇五號特許ヲ記載セル米國特許公報ノ記事ニ依テ本願ニ足ラス從テ之ニ依テ他人カ本發明ヲ實施スル能ハサルモノナリト云フト雖モ今右記事ニ就キ之ヲ閲覽スルニ本願發明ノ性質目的等ヲ知悉シ得ヘク從テ之ニ依テ當業者ノ實施シ得ヘキモノト認ムルヲ以テ至當トス請求人ハ前掲雜誌及特

第7186号

許公報ノ記事ニ依テ我國内ニ於ケル公知ノ事實ヲ認定セントセハ須ラク右書册カ現實ニ閲覧セラレタルコトヲ立證ナカルヘカラス云フ雖我特許局圖書館ハ明治三十七年九月十一日ヨリ之ヲ公開セラレタルモノナルヲ以テ所存書册ノ記載事項ニ付テハ敢テ見證的閲覧ノ證明ヲ要セス其ノ公知ニ屬スルヲ推定シ得ルモノトス而テ又其ノ証本語タルト英語タルトハ之カ爲メニ日本語ニ依リ審決スルコトト左ノ如シ

請求人中立裕立タス

明治四十年六月五日於特許局

審判長　特許局事務官　松田　啓太郎
特許局技師　安藤　格
特許局事務官　人見　次郎

司法

○放免　岡山縣阿哲郡上刑部村大字山奥平兵上田ゆきハ故縊ノ罪ニ因リ明治三十六年九月十八日岡山地方裁判所ニ於テ重懲役九年ニ處セラレ本犯ヨリ控訴ヲ申立テ同年十一月十一日大阪控訴院ニ於テ棄却セラレ尚ホ本犯ヨリ上告ヲ申立テ同年十二月二十二日大審院ニ於テ棄却セラル群馬縣群馬郡明治村大字北下村平民大井森十郎ハ同罪ニ因リ同三十七年四月二十三日前橋地方裁判所ニ於テ、滋賀縣犬上郡芹谷村大字甲頭倉平民安澤みよハ同罪ニ因リ同年四月四日大津地方裁判所ニ於テ各〻同九年、兵庫縣美方郡大庭村ノ内畜末村平民中村久造ハ傷打致死ノ罪ニ因リ同三十八年九月一日鳥取地方裁判所ニ於テ重禁錮二年、愛知縣愛知郡小碓村大字熱田新田平民伊藤留次郎ハ同罪ニ因リ同年十月十二日名古屋地方裁判所ニ於テ同二年ニ處セラレ服役中久造ハ本年三月十八日留次郎ハ去月十七日孰モ假出獄ヲ認可セラレタルニ付キ右兩名ヲ除キ其他ハ服役中ノ處ゆきハ本月三日、森十郎ハ同四日、みよハ同五日特典ヲ以テ放免シ併テ監視ヲ免シ久造ハ同一日留次郎ハ同七日特典ヲ以テ放免セラレタリ

○陸海軍

○簡閲點呼第八師管本年簡閲點呼施行日左ノ如シ（陸軍省）

青森縣
青森市　七月十三日ヨリ同十四日ニ至ル
東津輕郡　七月七日ヨリ同十五日ニ至ル
西津輕郡　七月十二日ヨリ同十八日ニ至ル
南津輕郡　七月二十五日ヨリ同三十一日ニ至ル
北津輕郡　七月十九日ヨリ同二十四日ニ至ル
中津輕郡　七月七日ヨリ同十日ニ至ル
弘前市　八月一日ヨリ同二日ニ至ル
上北郡　七月十六日ヨリ同二十三日ニ至ル
下北郡　七月二十五日ヨリ同八月二日ニ至ル
三戸郡　七月二十日ヨリ同二十八日ニ至ル
盛手縣
二戸郡　七月七日ヨリ同十日ニ至ル
九戸郡　七月十一日ヨリ同十八日ニ至ル
盛岡市　八月一日ヨリ同二日ニ至ル
盛岡郡　七月二十九日ヨリ八月四日ニ至ル
紫波郡　七月二十六日ヨリ同二十八日ニ至ル
下閉伊郡　七月七日ヨリ同十八日ニ至ル
上閉伊郡　七月十九日ヨリ同三十日ニ至ル
稗貫郡　七月七日ヨリ同十五日ニ至ル
和賀郡　七月十日ヨリ同二十三日ニ至ル
膽澤郡　七月十五日ヨリ同十八日ニ至ル
江刺郡　七月十九日ヨリ同二十一日ニ至ル
氣仙郡　七月二十二日ヨリ同二十七日ニ至ル
西磐井郡　八月一日ヨリ同四日ニ至ル
東磐井郡　七月七日ヨリ同十三日ニ至ル
宮城縣
栗原郡　七月二十五日ヨリ同三十一日ニ至ル
登米郡　七月二十日ヨリ同二十四日ニ至ル
本吉郡　七月十四日ヨリ同十九日ニ至ル
秋田縣
鹿角郡　七月十六日ヨリ同十九日ニ至ル
北秋田郡　七月二十日ヨリ同二十九日ニ至ル
山本郡　七月七日ヨリ同十四日ニ至ル
河邊郡　七月二十日ヨリ同二十七日ニ至ル
南秋田郡　七月七日ヨリ同十七日ニ至ル
由利郡　七月二十三日ヨリ八月一日ニ至ル
仙北郡　七月二十日ヨリ同三十日ニ至ル
平鹿郡　七月十三日ヨリ同十九日ニ至ル
雄勝郡　七月七日ヨリ同十二日ニ至ル
秋田市　七月十八日ヨリ同十九日ニ至ル
山形縣
西置賜郡　七月十五日ヨリ同二十二日ニ至ル
南置賜郡　七月二十四日ヨリ同二十七日ニ至ル
米澤市　七月二十八日ヨリ同二十九日ニ至ル
山形市　八月三日ヨリ同四日ニ至ル
東置賜郡　七月二十五日ヨリ八月二日ニ至ル
南村山郡　七月二十日ヨリ同二十七日ニ至ル
東村山郡　七月二十三日ヨリ同二十九日ニ至ル
北村山郡　七月十六日ヨリ同二十二日ニ至ル
西村山郡　七月七日ヨリ同十九日ニ至ル
最上郡　七月七日ヨリ同十四日ニ至ル
東田川郡　七月七日ヨリ同二十一日ニ至ル
西田川郡　七月十三日ヨリ同二十一日ニ至ル
飽海郡　七月二十五日ヨリ八月一日ニ至ル

○簡閲點呼施行日割中變更

本月八日本縣内揚瀧第一師管簡閲點呼施行日割中群馬縣邑樂郡「七月二十六日ヨリ同二十八日ニ至ル」ヲ「六月二十七日ヨリ同二十九日ニ至ル」ニ埼玉縣大里郡「六月三十日ヨリ七月五日ニ至ル」ヲ「七月一日ヨリ同五日ニ至ル」ニ孰モ訂正ス（陸軍省）

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
秋津洲	六、二	鎮江	鎮江	江陰ヲ經テ上海
水無月	同	澳門	澤根	朝霧
村雨	同	澳門	隅田	摩耶
飛鳥	同	佐世保	旅順	敷島

○日本赤十字社錄事

支部副長嗣託　日本赤十字社ハ熊本支部副長ニ紫波繁ヲ選擇シ上奏ヲ經テ嗣託セリ（宮内省）

○學事

○學位授與　文部大臣ハ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ昨十三日左記ノ者ニ學位ヲ授與セリ其學位記及論文審査ノ要旨左ノ如シ（文部省）

學位記

岐阜縣平民
土田卯三郎

右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ東京帝國大學醫科大學教授會ニ於テ其大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ醫學博士ノ學位ヲ授ク

論文審査ノ要旨

眼運動神經ノ起始核及之ニ關係スル中腦及間腦ニ於ケル徑路ニ就キテ（獨文）

本論文ハ緒言三頁、本論二〇五頁、挿圖二〇箇等ヲ分ツコト七、即チ第一成人及新生兒ノ眼筋核ノ常態、第二眼筋神經核、其根纖維及附近ノ發生狀態、第三眼筋核、及其附近ノ周圍ニ於ケル纖維ノ排列及走行、第四眼筋中樞ノ比較解剖、第五臨床解剖的調査、第六動眼神經ノ核中ニ於ケル群細ナル占位、第七成績ノ摘要等ニ引用書目錄ヲ附ス

本研究ノ成績ノ要點ハ大略次ノ如シ

先ツ概括シテ唱道スヘキハ人類ニ於ケル眼筋核及其附近ノ構造ニ就キテ重大ナル個人的異狀ヲ見ルコト只所謂主核即チ動眼神經核ノ背腹兩群、滑車神經核及外旋神經核ハ稍〻一定ノ解剖的所見ヲ呈スエヂンゲルウエストファール氏核、ペルリア氏中央核、ダルクチエウ井ッチニ氏核其他ニ至リテハ個人ニ依リ異ナルコト更ニ大ナリ

動眼神經主核ヲ背群腹群ニ分ツコトハ學者中異說アリト雖モ著者ハ兩群ノ間ニ常ニ間隙アルコト「カルミン」又ハ「ニスル」標本ニ就キテ檢スルニ此間隙中ニ神經細胞ヲ殆ト缺クコト、兩群ヨリ起ル纖維カ各別ニ走ルコト、神經細胞カ腹群ニ比シテハ背群ニ著シク稠密ナルコトヨリシテ兩群ニ區別スルヲ正當ナリトス、動眼神經核ハ其全部ニ於テ異種ノ神經細胞ヨリ成ル、之ヲ大中小ノ三種ニ別チテ各其大サヲ測定シ其性狀ヲ詳シク說明ス

「エヂンゲルウエストファール氏核ハ頭方ニ愈〻能大シ尾方ニ細小トナリ特種ノ大小細胞ヨリ成ルペルリア氏中央核ハ多クノ場合ニ於テ其分界明瞭ナラス著者ハ約二〇％ニ於テ此核ヲ認ムルヲ得ルノミ又明カニ限畫セルペルリア氏核ハ動眼神經核柱ノ前三分ノ一ニ於テノミ存ス

著者ハ動眼神經根ノ核細胞群ヨリ起ル微細ナル肋狀ヲ研究シテ該内纖維、核内根束及腦内根束ノ三部ニ區分ス但シ直線維ハ動眼神經根ニ算入セサルヲ可トス又中央線ヲ越ヘテ一側ヨリ他側ニ走ル線維ハ核柱ノ尾極ニ於テ多クノ場合ニ此線維ハ甚複雜ナルモ此中ニ小數ナル動眼神經根ノ交叉線維ヲ含ムカ如シ

併シ著者ハ異側半身不麻ノ一側ニ就キテ研究シタルニ重要ナル成績ヲ得タリ其主要ナル病竈ハ中腦域内ニ於ケル動眼神經ノ腦内根、右側ノ内側縦束、被蓋部ノ大部分、黑質ノ一部、腦脚ノ内側部等ハ破壞セラル此例ニ於テ甚注目スヘキコトハ主核尾極ノ邊ニ當リテ右側ニ於テハ動眼神經ノ尾方根ハ全ク破壞セル此例ニ於テハ動眼神經ノ尾方ニ轉徙シテ且其間ニモ多少惡常ノ纖維ノ混セリ又額方ノ部分（即チ脚底膨隆部ト外旋狀體ノ後端トノ間ニ乃至二、五個迷ノ部分）ニハ變質纖維ハ僅少ニシテ是ニ由リテ觀ルトキ只一例ノミハ雖モ從來一般ニ認メラレタル主核ノ尾方部ヨリ起ル動眼神經根ノ交叉ハ甚多難ハ眼球ノ下轉運動ヲナシ得タレハ動眼神經核ノ殘存セル頭方部ガ下直筋ト關係ヲ有スルコトハ確實ナリト

從來ノ病理的實驗ニ依レハ眼筋ハ慶ク核全部ヨリ管理セラルヽニアラスシテ各筋一定ノ限畫セル主管部ヲ有スルカ如シ

中央核及エヂンゲルウエストファール氏核ヲ以テ瞳孔中樞ト做スペルンハイメル氏ノ說ハ非認ス何トナレハペルンハイメル氏ノ說ハ猿ニツキテ施シタル試驗ニ基クト雖モ著者カ研究ニ依レハ猿ハ中央核、エヂンゲルウエストファール氏核共ニ有セス又人間ニ於テハ歷〻中央核ヲ缺クノミナラス第一例ニ於テハ中央核及エヂンゲルウエストファール氏核ハ病竈ニ依リテ破壞セルニモ關ラス瞳孔反應ハ兩側共存シタレハナリ第二例モ又ペルンハイメル氏ノ說ノ誤レルコトヲ證明ス何トナレハ此例ニ於テハエヂンゲルウエストファール氏核ハ全部存スルニモ關ハラス臨床上内外眼全麻痺ヲ診斷セラレタルヲ以テナリ著者ハ第一例ニ基キテ動眼神經ノ外側主核頭極中ニ在ル小ナル神經細胞ヲ以テ瞳孔ト關係アルモノト信スルカ如シ此說果シテ眞ナリトセハ從來試驗的、病理解剖的及臨床的所見ト一致セス即チ第一例ニ於テハ中心腔灰白質ノ右ヨリ左ニ亙リテ抵ス雖モ瞳孔作用ハ害セラレサリシナリ」

此論文ハ一稀有ナル例ヲ根拠トシテ研究セシ結果ヲ編述セルモノニシテ其症例ハ外傷性假性腦膜脱出左側後頭葉穿孔腦脚側右半性同性半盲症ト診斷ヲ受ケタル二十六歳ノ男子ニシテ生後一年三箇月頃十三段高キ階段ヨリ石敷ノ上ニ落チ後頭ヲ打チ後頭左側ニ鷄卵大腫揚ヲ生シ四歳ノ時原因ナクシテ十五分間程長キ無意識ノ發作ヲ呈シ其日小歩行スルヲ得タルモ談話スルコト能ハスヲ得サリシ十六歳ノ時初メテ數秒間ノ「アブセンス」起リ其ヨリ六年間ハ一日ニ四乃至六回此ノ如キ發作アリタリ二十二歳ノ時暴酒後重キ痙攣性起リ四乃至五日ヲ隔テハ全身痙攣發作ヲ呈ス二十六歳ノ時手術ヲ受ケ其前運動障碍或第瞳孔ヲ發セシコト（文獻上稀有ナリ）又解剖上ニ於テ右著色カ腦脊髓神經副臂ニ及ヒタ

ルアリ半盲性瞳孔反應ナシ手術ハ後頭ニ穴ヲ穿チ腦室ニ達通セルヲ以テ之ニ「ドレーン」ヲ施シタリ手術後十五日間ハ發作ナカリシカ其後ハ六第ニ發作ヲ來シ後ハ殆ト毎日ニ發作ヲ來シ其所ノ囊腫ヲ切開キ腦室ニ連通セルヲ以テ之ニハ不安誘妄幻覺抵抗等ノ爲顯病院ニ入リ遂ニ死亡セリ

解剖上ノ所見トシテ腦ノ後頭尖端ハ手術ノ爲ニ損ハレ殊ニ其背外面ニ於カナリシ腹中ノ力ハ手術ノ損傷ハ受サレトモ穿孔腦ノ病竈ハ爲ニ損シタリト之ヲ健側ニ比較スル此側ノ後頭葉ハ茅縮シ殊ニ腹面ノ爲ハ顯微鏡上ノ所見トシテ著者ハ香狀葉、楔狀葉紡錘狀迴紋後頭顆迴迴紋後隅曲迴紋等ノ變化ヲ記載シテ後頭黑質ノ變化ニ及ヘルカ此後頭體質ニハ人モ知ル三段ノ纖維層アリテ最モ中力ナルヲ内方矢層（狀脚膨隆被蓋Tapetum）トシ最外ナルヲ外方矢狀層（下方縫走纖維束Fasciculus longitudinalis inferior）ト云フ此中ニテ内方矢狀層ハ所ゝ手術ニ因スル損傷ヲ被ムルノミニシテ且其損傷ハ此層ノ背方際段殊ニ其後頭隅ニ近キ小部分ニ限リタル中間矢狀層ニ於テハ其後頭方ノ部分（後頭ノ隅角ヨリ楔狀葉ノ頭方端ニ及フ凡ソ三仙迷長ノ部分）ハ纖維系ノ一部殆ント完全ニ變質ヲ呈シ他系ノ一部モ變性セル纖維ヲ打混セリ中間ノ部分（即チ楔狀葉ノ前端ヨリ脚底膨隆部ノ後緣迄凡三仙迷長ノ部分）ニテハ變性部ハ背方ニ轉徙シテ且其間ニモ多少惡常ノ纖維ノ混セリ又額方ノ部分（即チ脚底膨隆部ト外旋狀體ノ後端トノ間二乃至二、五個迷ノ部分）ニハ變質纖維ハ僅少ニシテ健康纖維ノ間ニ時々發見スルニ過キス又第三ノ所謂外方矢狀層ハ後頭隅角ヨリ扁桃體カ頭狀切片ニ現出スル迄ノ所ニテ（即チ纖維系ノ全路程ノ高度ニ纖發ニ變性シタリ又一方ニ於テ外旋狀體ハ左側ニ於テ右側ヨリモ其容積ヲ半分程ニ減殺セリ而シテ是レ全ク纖發性ノモノト認ムヘシ又此處ノ神經細胞ハ一箇モ尋常ナルモノナク多クハ較著ナル變化ヲ呈セリ其他左側ニ於テハ四疊體前對脚モ殆ント全ク萎縮シ四疊體前對自身モ（殊ニ其中央灰白層）可ナリニ萎縮シ視神經鞘モ細タナリ居タリ

著者ノ此ノ症例ハノ之ヲ著名ナルチューリヒ教授モナコフ氏ヨリ授カリタルモノニシテ從來餘リナキ稀有ノモノナリ第一此例ニ於テハ後頭葉ノ損傷ノ損傷部狹隘ノシ楔狀葉ノ前端ニ縁ニ達スル位楔狀葉脚黑質内ノ視覺放散線及外膝狀體ノ變化ハ較著ナルモノト認ムヘク此病竈ハ腦室被膜爽下後頭ノ損傷ニ因スル出血ノ跡ト思ハレ原トシ之カ爲ニ第一ニ後頭ノ腦室後部ナル體質ニ變化ヲ生シ皮質内ノ視覺的倒寫纖維ヲ犯シ而シテ其變化ハ舌狀葉ノ一部（眞中及後頭方ノ部分）楔狀葉ノ全部紡錘狀迴紋ノ一部（後頭角ニ近キ三分二）等後頭ノ中方面ノ部分ニ於テ故ニ此處ハ視覺纖維ノ中樞部ナル視覺中樞ト認ムヘキモノニシテ是ト關係ヲ同ク病變ヲ呈スル外膝狀體及ヒ之ニ連絡スル視覺放散線ナルカ如ク而シテ四疊體前對、視神經床ノ外方核及腹方核等ハ此等ト直接關係アルコト疑ハシクシテ却ツテ後頭ノ外方側面ノ皮質ト關係アルモノナラン著者ハ猶進ンテ彼所謂視覺纖維ハフレシヒ、ヘーゼル、ニースル、プローブスト等ノ說ノ如ク外方矢狀層ノミヲ通過セスシテ此他ニ内方矢狀層ヲモ通過スルモノテモナコフ、デジエリン、ワックス、ユーヂンゲル等ノ說ニ贊成シ猶同纖維ハ鳥距溝後部附近ニテハ此兩層ニ同樣ニ分配セラレ鳥距溝ノ前三分二附近ニテハ多分ハ外矢狀層中ニアリ其ヨリ前方ニ於テハ殆ント悉ク此層ニ走ルモノナリト論斷シタリ

著者自ラ外方矢狀層ハ例寫纖維ト連合纖維トヲ包含シ其倒寫纖維ハ外膝狀體ヨリ皮質ノ視覺中樞ニ達スルモノニシテ連合纖維ハ後頭葉ト連合ヲナスモノナリ内方矢狀層ニモ右ニ樣ノ纖維ハ僅ニ後頭葉ノ一部ニ近キ部分ニノミアリテ其ヨリ前額ニ近キ部分ハ線上迴紋及ヒ上顳頭迴紋ノ神經床ノ（外旋狀體ヲ除キ）後部トハ連絡スル纖維ノミヲ有スル者ナリト

皮膚及粘膜ノ非常ニ著色セル並延性黎皮病ノ一例（獨文）

此例ハ三十四歳ノ男子突然胸部ニ褐色ノ斑ノ生シ其ヨリ其著色次第全身ニ蔓延シ之ト共ニ瘙痒急性劇烈ノ關節痛腹痛痙攣時々失氣發作及七食思不振ヲ發シタルカ皮膚ハ初メハ關節部ニ水腫性腫起シ顔面腹部四肢ニ於テ癌等ト悪化ト呈シ四肢ノ屈伸ノ困難ヲ來シ關節ノ脱臼ハ殆ント不能ニ陥リ遂ニ死ニ至リタルモノニシテ小學校ニテハ小學生ノ中等成績ナリシカ中學ニ進ンテハ學力ヲ得サリシ十六歳ノ時初メテ數秒間ノ「アブセンス」起リ其ヨリ六年間ハ一日ニ四乃至六回此ノ如キ發作アリタリ二十二歳ノ時暴酒後重キ痙攣性ノ發作ヲ呈ス二十六歳ノ時手術ヲ受ケ其前運動障碍或第瞳孔ヲ發セシコト（文獻上稀有ナリ）又解剖上ニ於テ右著色カ腦脊髓神經副臂ニ及ヒタルアリ半盲性瞳孔反應ナシ手術ハ後頭ニ穴ヲ穿チ腦室ニ達通セルヲ以テ之ニハ不安誘妄幻覺抵抗等ノ爲顯病院ニ入リ遂ニ死亡セリ

解剖上ノ所見トシテ腦ノ後頭尖端ハ手術ノ爲ニ損ハレ殊ニ其背外面ニ於カナリシ腹中ノ力ハ手術ノ損傷ハ受サレトモ穿孔腦ノ病竈ハ爲ニ損シタリト之ヲ健側ニ比較スル此側ノ後頭葉ハ茅縮シ殊ニ腹面ノ爲ハ顯微鏡上ノ所見トシテ著者ハ香狀葉、楔狀葉紡錘狀迴紋後頭顆迴迴紋後隅曲迴紋等ノ變化ヲ記載シテ後頭黑質ノ變化ニ及ヘルカ此後頭體質ニハ人モ知ル三段ノ纖維層アリテ最モ中力ナルヲ内方矢層（狀脚膨隆被蓋Tapetum）トシ最外ナルヲ外方矢狀層（下方縫走纖維束Fasciculus longitudinalis inferior）ト云フ此中ニテ内方矢狀層ハ所ゝ手術ニ因スル損傷ヲ被ムルノミニシテ且其損傷ハ此層ノ背方際段殊ニ其後頭隅ニ近キ小部分ニ限リタル中間矢狀層ニ於テハ其後頭方ノ部分（後頭ノ隅角ヨリ楔狀葉ノ頭方端ニ及フ凡ソ三仙迷長ノ部分）ハ纖維系ノ一部殆ント完全ニ變質ヲ呈シ他系ノ一部モ變性セル纖維ヲ打混セリ中間ノ部分（即チ楔狀葉ノ前端ヨリ脚底膨隆部ノ後緣迄凡三仙迷長ノ部分）ニテハ變性部ハ背方ニ轉徙シテ且其間ニモ多少惡常ノ纖維ノ混セリ又額方ノ部分（即チ脚底膨隆部ト外旋狀體ノ後端トノ間二乃至二、五個迷ノ部分）ニハ變質纖維ハ僅少ニシテ健康纖維ノ間ニ時々發見スルニ過キス又第三ノ所謂外方矢狀層ハ後頭隅角ヨリ扁桃體カ頭狀切片ニ現出スル迄ノ所ニテ（即チ纖維系ノ全路程ノ高度ニ纖發ニ變性シタリ又一方ニ於テ外旋狀體ハ左側ニ於テ右側ヨリモ其容積ヲ半分程ニ減殺セリ而シテ是レ全ク纖發性ノモノト認ムヘシ又此處ノ神經細胞ハ一箇モ尋常ナルモノナク多クハ較著ナル變化ヲ呈セリ其他左側ニ於テハ四疊體前對脚モ殆ント全ク萎縮シ四疊體前對自身モ（殊ニ其中央灰白層）可ナリニ萎縮シ視神經鞘モ細タナリ居タリ

著者ノ此ノ症例ハノ之ヲ著名ナルチューリヒ教授モナコフ氏ヨリ授カリタルモノニシテ從來餘リナキ稀有ノモノナリ第一此例ニ於テハ後頭葉ノ損傷ノ損傷部狹隘ノシ楔狀葉ノ前端ニ縁ニ達スル位楔狀葉脚黑質内ノ視覺放散線及外膝狀體ノ變化ハ較著ナルモノト認ムヘク此病竈ハ腦室被膜爽下後頭ノ損傷ニ因スル出血ノ跡ト思ハレ原トシ之カ爲ニ第一ニ後頭ノ腦室後部ナル體質ニ變化ヲ生シ皮質内ノ視覺的倒寫纖維ヲ犯シ而シテ其變化ハ舌狀葉ノ一部（眞中及後頭方ノ部分）楔狀葉ノ全部紡錘狀迴紋ノ一部（後頭角ニ近キ三分二）等後頭ノ中方面ノ部分ニ於テ故ニ此處ハ視覺纖維ノ中樞部ナル視覺中樞ト認ムヘキモノニシテ是ト關係ヲ同ク病變ヲ呈スル外膝狀體及ヒ之ニ連絡スル視覺放散線ナルカ如ク而シテ四疊體前對、視神經床ノ外方核及腹方核等ハ此等ト直接關係アルコト疑ハシクシテ却ツテ後頭ノ外方側面ノ皮質ト關係アルモノナラン著者ハ猶進ンテ彼所謂視覺纖維ハフレシヒ、ヘーゼル、ニースル、プローブスト等ノ說ノ如ク外方矢狀層ノミヲ通過セスシテ此他ニ内方矢狀層ヲモ通過スルモノテモナコフ、デジエリン、ワックス、ユーヂンゲル等ノ說ニ贊成シ猶同纖維ハ鳥距溝後部附近ニテハ此兩層ニ同樣ニ分配セラレ鳥距溝ノ前三分二附近ニテハ多分ハ外矢狀層中ニアリ其ヨリ前方ニ於テハ殆ント悉ク此層ニ走ルモノナリト論斷シタリ

著者自ラ外方矢狀層ハ例寫纖維ト連合纖維トヲ包含シ其倒寫纖維ハ外膝狀體ヨリ皮質ノ視覺中樞ニ達スルモノニシテ連合纖維ハ後頭葉ト連合ヲナスモノナリ内方矢狀層ニモ右ニ樣ノ纖維ハ僅ニ後頭葉ノ一部ニ近キ部分ニノミアリテ其ヨリ前額ニ近キ部分ハ線上迴紋及ヒ上顳頭迴紋ノ神經床ノ（外旋狀體ヲ除キ）後部トハ連絡スル纖維ノミヲ有スル者ナリト

皮膚及粘膜ノ非常ニ著色セル並延性黎皮病ノ一例（獨文）

此例ハ三十四歳ノ男子突然胸部ニ褐色ノ斑ノ生シ其ヨリ其著色次第全身ニ蔓延シ之ト共ニ瘙痒急性劇烈ノ關節痛腹痛痙攣時々失氣發作及七食思不振ヲ發シタルカ皮膚ハ初メハ關節部ニ水腫性腫起シ顔面腹部四肢ニ於テ癌等ト悪化ト呈シ四肢ノ屈伸ノ困難ヲ來シ關節ノ脱臼ハ殆ント不能ニ陥リ遂ニ死ニ至リタルモノニシテ小學校ニテハ小學生ノ中等成績ナリシカ中學ニ進ンテハ學力ヲ得サリシ十六歳ノ時初メテ數秒間ノ「アブセンス」起リ其ヨリ六年間ハ一日ニ四乃至六回此ノ如キ發作アリタリ二十二歳ノ時暴酒後重キ痙攣性ノ發作ヲ呈ス二十六歳ノ時手術ヲ受ケ其前運動障碍或第瞳孔ヲ發セシコト（文獻上稀有ナリ）又解剖上ニ於テ右著色カ腦脊髓神經副臂ニ及ヒタ

第7186号

ルコト眞皮ニ色素ナキコト（從來ノ學者ハ皆其增加ヲ說ケリヲ列擧シ且食思不振、肉食ノ嫌惡、高度ナル皮膚著色、腹痛痛後期ニ於ル類回ノ嘔吐、急性ノ經過等アリソン氏病ニ似タル症候多キニ關セル皮膚及突感神經節（アデソン氏病ニハ變化スニ異常ナカリシコトヲ注意シ從來ノ學者カ鞏皮病ノ皮膚ノ著色ハ弱キモノナリト云ヒ又此病ニハ粘膜ノ著色スルコトハナシト云ヒシヲ原撰シテ一種ノ皮膚ノ著色從ニ四肢ノ鞏皮ヲ主ナル徴候トシタル變延性鞏皮病ノ存在ヲ認メタルモノハ認メタリ以上論文ハ學術上有益ニシテ土田那三郎ハ醫學博士ノ學位ヲ授與セラルヘキ資格ヲ有スルモノト認定ス

學位記

静岡縣平民　正五位勳四等　荻生　錄造

右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ東京帝國大學醫科大學教授會ニ於テ其大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ醫學博士ノ學位ヲ授ク

論文審査ノ要旨

松蛄蟭ノ眼ニ及ス危害ニ就テ

著者ハ緒論ニ於テ松蛄蟭毛管入ニヨリテ反覆發作セル眼炎ヲ惹起シ遂ニ失明シタル實驗例ヲ掲ケ之レニ附記シテ著者ノ任地ニ於テ殊ニ松蛄蟭ヲ恐怖ノ習慣ヲ並ヘ松蛄蟭ノ危害カ臨床的實驗例ニ乏シキハ蓋シ其害毛ノ纖細ナル力爲メニ其因テ及ス所ノ疾患ヲ他ノ原因ト誤ラルヽカ故ナラント推シ之レヲ本問題研究ノ前提トナセリ」次ニ蛄蟭（及ヒ烏蠅）ニ由來スル眼疾患ニ就テ從來記載セラレタル諸家ノ報告中松蛄蟭（少クモ之ト同族ナル Kiefersmücke）ニ因スル眼炎トシテ確認スヘキワイス氏ノ一例ヲ擧ケタリ

松蛄蟭及其毛ニ就テハ古來蛄蟭（廣義）一般ノ毒作用トシテ稱道サレタル羅馬時代ノ舊說ヨリ說キ起シ松蛄蟭（まつけむし Gastromelia Hell.）ノ尾蟲ハ別テ人ノ研究ヲ遂ケ體毛ニ四種ノ別アルコトヲ示シ吾人カ所謂書毛ト認ムヘキモノハ其頭部ニノミ發生スル鹽黑色針狀毛ノ中空ナルコトヲ提言シ之ヲ刺毛ト命名セリ醫他ノ體毛ハ何レモ刺傷性ノ有セス之レヲ圓狀毛、鱗毛、長毛ト命名セリ而シテ體毛ハ四種共ニ遠鈎ノ有セス

動物試驗ハ次ノ如ク區別シテ行ヘリ

其一、幼蟲頭部擦打試驗　其二、繭ニ附著セル刺毛ノ試驗　其三、刺毛ノ結膜嚢內挿入試驗　其四、幼蟲體液及吐出液試驗　其五、刺毛ノ皮膚及耳化器ニ對スル試驗

試驗ニ用ヒラレタル材料ハ兎「モルモット」、鷄、人體皮膚ニシテ就中其三十一例ヲ詳細列擧シタルモノナリ

化學的及細菌的試驗ニ於テハ松蛄蟭幼蟲百餘匹ヨリ採取シタル材料ヲ分析シ更ニ兎「モルモット」ニ試驗ヲ施シ刺毛ニ就テ各種ノ培養試驗ヲ行セタルモノナリ

概論ニ發生セル眼毛中所謂刺毛ハ諸具防禦ノ性質ヲ有シ能ク他動物ノ侵襲ニ備フルモノヽ如ク極メテ容易ニ體壁ヨリ脫離シ他物ヲ刺傷スル反之他ノ體毛ハ柔軟ニシテ全ク刺傷性ヲ有セス而シテ刺毛ハ松蛄蟭幼蟲體壁ノ所謂 Chitinhaut ニ基ケスルモノニシテ幼蟲ノ何レノ時ニ於テ檢スルモ其根部ニ腺組織（少クトモ漏斗）ノ連續スル毛ノヲ見ス又刺毛ノ中空ナルハ分泌液排泄ニ與モノニアラスト

刺毛ノ眼ヲ刺傷スル場合ニハ其一部ハ角膜結膜若クハ眼瞼皮膚ニ刺通シテ結膜角膜ノ炎症ヲ惹起シ角膜上層ハ腐、剥離シ乃至數日ニシテ刺毛ノ大部分ハ角膜ヨリ脫離シスレトモ又久シク組織中ニ潛留シ後ニハ全ク無刺戟性ノ異物ノ如ク見ユルモノアリ又其多クハ角膜後層ヲ貫シテ前房ニ落下シルヤ更ニ紅彩ヲ刺傷シ若クハ水晶體チシン氏帶ヲ通過シテ硝子體尙ホ深部ニ達スルモノナリ刺入毛ノ周圍ニワイス氏ノ云ヘル如キ結節ヲ形成スルモノハ全ク之レナシ而シテ刺毛ノ刺傷ニヨリ發スル眼炎ノ程度ハ激甚ナル場合ニハ混濁ヲ及ホサス又化膿性炎症ヲ惹起シタルハ只一例ニ過キス

刺毛ハ幼蟲頭部擦打ニヨリテ動物ヲ刺傷スル場合ト繭ニ附著セル刺毛ニヨリ刺傷トニ於テ其反應ニ相違ノ見ス又刺毛ハ單ニ結膜嚢ニ挿入スルモ其角膜ヲ刺傷スル場合ハ其結果尚著ナラサリシ

幼蟲頭部體液及吐出液ハ共ニ著シキ刺戟性ヲ有スルモノニアラス又化學的ニ得タル分析物モ同樣ナリ此等ノモノハ擦爬角膜面ニ塗布シ結膜下皮下等ニ注射スルモ全ク無反應ナリ又吐體液及吐出液中ニ毒成分ヲ含有セサルモノナリ刺毛亦タ各試驗ニ基キ全ク毒性分ヲ有セサルコト明カナリ

以之眼ニ對スル諸多ノ刺戟症狀ハ刺毛其毛ノヽ異物作用ニ外ナラスト信ス終リニ培養試驗ニ基キ刺毛カ眼ヲ刺傷セシ場合ニハ化膿菌傳染ノ危險アルヘキモノニシテ孫ニ克ク空氣中ニ飛散スルカ故ニ從來原因不明ノ理ニ經過セル結膜角膜虹彩若クハ毛管ニ於テ發生スル鹽黑色針狀毛ノ存在ヲ認メタルモノハ恐ラク松蛄蟭刺毛ニ基因スルモノアルヘク只タ世人ノ注意ヲ惹カサルハ一ニ刺毛カ甚タ纖細ナルカ故ニ外ナラスト

結論ニ於テ次ノ如ク說ケリ

一、松蛄蟭ノ眼ニ及ホス危害ハ單ニ幼蟲頭部ニ存スル刺毛ニ基クモノナリ

二、刺毛ハ幼蟲ノ生ケルト死セルトヲ問ハス直チニ山ヲ其刺戟ノ程度ニ差違ナシ

三、刺毛ハ新鮮ナルト陳舊ナルト及ヒ久シク酒精中ニ蓄ヘタルモノトニ山テ其刺戟ノ程度ニ差違ナシ

四、刺毛ハ毒物質ノ存在ヲ認メス

五、刺毛ハ頗ル尖銳ナルカ爲メニ克ク他物ヲ刺傷ス

六、刺毛ハ甚タ緩徐ニ幼蟲及繭ニ連結附著シ刺傷ニヨリテ克ク他物ノ深部ニ穿入シテ殘留ス

七、刺毛ニヨリ惹起シタル炎症ノ程度ハ刺毛ノ多寡及所在ノ深淺ニヨリテ差異アリ

八、刺毛ノ刺入ハ結膜ニ于ル上層ニ于ル上層ニ于ル上層

（十六）飯匙蛯海ニ對シテ有效ナル血清ハ馬血清ニ對シテ全ク無效ナリ該血清ハ飯匙蛯血清ト稠厚ナル沈澱ヲ生スル可能性ハ沈澱ヲ生セス

（十七）飯匙蛯血清ヲ以テ兔病セル動物ノ血液ハ兔病セサル動物ノ血液ヨリモ凝固スルコト遲シ

以上論文ハ學術上有益ニシテ大學院學生石坂友太郎ハ醫學博士ノ學位ヲ授與セラルヘキ資格ヲ有スルモノト認定ス

學位記

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

靜岡縣士族　井上辰九郎

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

福井縣士族　正三位勳二等　山脇　玄

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

東京府士族　從三位勳二等　都筑　馨六

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

東京府士族　正五位勳三等　平沼騏一郎

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

東京府平民　從五位　小林丑三郎

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

大分縣平民　正四位勳二等　横田　國臣

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

山形縣平民　正五位勳五等　安達峰一郎

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

學位記

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

長野縣士族　正七位　原　嘉道

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

富山縣士族　從四位勳六等　磯部　四郎

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

福岡縣平民　從四位勳三等　倉富勇三郎

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

兵庫縣平民　從七位　村瀬　春雄

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

石川縣士族　從四位勳三等　前田　孝階

右博士會ニ於テ學位ヲ授クヘキ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ法學博士ノ學位ヲ授ク

○文部省年報摘要（一昨十二日ノ續）

帝國大學

帝國大學　國家ノ須要ニ應スル學術技藝ヲ教授シ及其蘊奥ヲ攻究スルヲ以テ目的トスル所ニシテ東京帝國大學及京都帝國大學ノ二アリ孰モ文部省ノ直轄ニシテ大學院及分科大學ヲ以テ構成ス大學院ハ學術技藝ノ蘊奥ヲ攻究シ分科大學ハ學術ノ理論及應用ヲ教授スル所トス

東京帝國大學　大學院及法科大學、醫科大學、工科大學、文科大學、理科大學、農科大學ノ六分科大學ヲ以テ構成ス其分科大學ノ學科別及講座數ヲ擧クレハ法科大學ハ法律學、政治學ノ二科ニ分レテ三十一講座アリ醫科大學ハ醫學、藥學ノ二科ニ分レテ三十七講座アリ別ニ國家醫學講習科ヲ置ク工科大學ハ土木工學、機械工學、造船學、造兵學、電氣工學、建築學、應用化學、火藥學、採鑛及冶金學ノ九科ニ別レテ三十一講座アリ文科大學ハ哲學、史學、文學ノ三科ニ分レテ二十三講座アリ理科大學ハ數學、星學、理論物理學、實驗物理學、化學、動物學、植物學、地質學ノ八科ニ分レテ二十四講座アリ農科大學ハ農學、農藝化學、林學、獸醫學ノ四科ニ分レテ二十五講座アリ別ニ農學、林學、獸醫學ノ各實科ヲ置キ醫

科大學、文科大學、理科大學ニ研究科、各分科大學ニ選科ヲ置ク又本學ニ附屬圖書館、醫科大學ニ附屬醫院、文科大學ニ史料編纂掛、理科大學ニ附屬東京天文臺、附屬植物園、附屬臨海實驗所、農科大學ニ附屬演習林、農場、家畜病院、附屬農業教員養成所アリ其他醫科大學、工科大學、理科大學、農科大學ニ各種ノ實驗室、列品室等アリ

分科大學學生ノ修業期間及試驗方法ヲ記センニ法科大學ニ在リテハ別ニ期限ヲ定メス每學年一回ノ通常試驗ヲ爲シ累進シテ第四回ノ通常試驗ヲ經タル者ニ更ニ卒業試驗ヲ施行シ醫科大學ニ在リテハ醫學科ハ修業年限四箇年ニシテ第二學年ノ終ニ第一期試驗ヲ行ヒ第四學年ノ終リタル後ニ第二期試驗ヲ施行シ藥學科ハ修業年限三箇年ニシテ各學年末ノ試驗ヲ經タル者ニ更ニ卒業論文ヲ提出セシメ卒業試驗ヲ施行スルモノトス工科大學ニ在リテハ修業年限三箇年ニシテ每年第一學期及第三學期末ニ於テ試驗ヲ行ヒ第三年ノ終ニ於テハ尙ホ卒業計畫、卒業論文ヲ提出スルモノトシ文科大學ニ在リテハ別ニ期限ヲ定メス三學年以上在學シタル學生ニシテ語學試驗ヲ受ケ且ツ所定ノ一受驗學科ニ相當スル必修科目以上ヲ修了シタル者ニ卒業試驗ヲ施行シ理科大學ニ在リテハ修業年限三箇年ニシテ每學年ノ試驗ヲ行フ外別ニ卒業試驗ヲ施行セス農科大學ニ在リテハ修業年限三箇年ニシテ每學年末ニ於テ試驗ヲ行ヒ第三年ノ終ニ於テハ尙ホ卒業論文ヲ提出スルモノトシ唯獸醫學科ニ於テハ三學年限修シタル主眼ノ課目ニ就キ更ニ卒業試驗ヲ施行スルモノトス大學院學生ニ在リテハ在學期間五箇年ニシテ醫科工科、理科及農科ニ係ルモノハ入學ノ初二箇年間ハ其攻究事項ノ國ス分科大學內ニ於テ研究ニ從事スルモノトス又醫科大學ニ於ケル國家醫學講習科ノ講習期限ハ四箇月ニシテ農科大學ニ於ケル農學、林學、獸醫學實科ハ修業年限各〻三箇年ナリ

本年度ニ於テ諸規程中改正セラレタル重要ナルモノヲ擧クレハ工科大學學科課程中造兵學科第一學年ノ化學實驗ヲ刪除シ製圖ノ時間ヲ增シ且ツ從來ノ機械製圖ヲ計畫及製圖ト改メ新ニ造兵學專門ノ計畫製圖ノ初步ヲ課シ以テ講義ト製圖トノ併進ヲ圖リ同第二學年ニ電氣工學實驗竝ニ機械工學實驗ヲ增設シタル理科大學學科課程中化學科第三學年ノ化學力學ヲ第二學年ニ移シ又第三學年ノ物理化學實驗法ヲ刪除シ新ニ有機化學特別講義及物理化學特別問題ノ二科目ヲ加ヘ動植物學科第一學年ノ生理化學及實驗ヲ刪除シ臨海實驗ヲ加ヘ同第二學年ノ特別問題、有背動物比較解剖ヲ刪除シ組織學及發生學、水產學、植物學野外演習ヲ加ヘ動物學科第三學年ノ特別問題、脊生動物學ヲ刪除シ實地研究ノ實地研究及卒業論文ト改メ特別問題講義、特別問題講習、水產學ヲ加ヘタル農科大學農學、林學、獸醫學各實科生徒ニシテ他學校ノ入學試驗ヲ受ケントスルトキハ農科大學長ノ許可ヲ受クヘキコトヽシ又外國人ニシテ特ニ入學ヲ許可シタル者ニ對シテハ學科課程中ノ英語若ハ獨語ヲ缺クコトヲ許シタル等ナリ

本學ノ設備ハ漸次整頓ノ域ニ達シタリト雖モ構內ノ敷地ハ遂年建造物ノ增加スルニ隨ヒ狹隘ヲ感スルコト甚シク教室、實驗室等ノ如キモ尙ホ改造又ハ增築ヲ要スル少シトセス圖書、器械、標本等亦購入補充ヲ要スヘキモノ甚多シ茲ニ亦年度中ニ於ケル工事ノ梗概ヲ擧クレハ既ニ新築落成セシモノハ醫科大學附屬醫院外科病室等ニシテ今尙ホ新築工事中ニ係ルモノハ工科大學造船學教室、土木工學教室、醫科大學藥學教室、解剖學教室、法醫學教室等ナリ

本年度中分科大學教員ヲシテ學生實地指導ヲタメ各地ニ派出セシメタルハ醫科大學ニ於テ二回、工科大學ニ於テ十六回、理科大學ニ於テ十八回、計三十八回、學術上取調ノタメ派出セシメタルハ法科大學ニ於テ一回、醫科大學ニ於テ五回、工科大學ニ於テ六回、理科大學ニ於テ八回、農科大學ニ於テ十二回、計四十四回ニシテ外國ニ派遣セシメタルハ工科大學ニ於テ四回、農科大學ニ於テ一回ナリトス

分科大學教員ノ數ハ教授百二十一人、助教授六十四人、囑託七十三人、外國教師二人ヲ增シ囑託ニ三人ヲ減セリ前年度ニ比スレハ教授助教授各〻三人、外國教師二人ヲ增シ囑託ニ三人ヲ減セリ前年度ニ比スレハ教授十二人、清國政府ノ招聘ニ應シ現ニ國ニ在留スル者教授一人、助教授三人アリ而シテ外國教師ヲ其國籍ニ依リ區別スレハ英國人、米國人、獨國人各〻三人、佛國人二人、露國人、伊國人、瑞西國人、露國人各〻一人ナリ教員以外ノ職員ハ總員一人、書記官二人、書記四十八人、助手百二十四人、囑託醫四人、其他ノ囑託員二百十一人、雇員百四人ニシテ前年度ニ比シ

書記ニ二人ヲ減シ助手ニ三人、囑託醫ニ一人、其他ノ囑託員ニ十四人、雇員ニ一人ヲ增セリ史料編纂掛ニ關スル職員ハ之ヲ別項ニ記述スヘシ

學生生徒ノ數ハ大學院學生六百九十八人、分科大學學生三千二百七十八人其中法科大學學生千四百五十七人醫科大學學生四百九十五人、工科大學學生五百四十一人、文科大學學生四百六十九人、理科大學學生百十一人、農科大學學生百九十七人、分科大學生徒四百二十五人、合計四千三百九十三人ニシテ前年度ニ比シ大學院學生ニ六十八人、分科大學學生ニ三百二十六人、計三百九十四人ヲ增セリ其分科大學學生ノ增加ヲ細別スレハ法科大學ニ百九十九人、醫科大學ニ二十八、工科大學ニ十一人、文科大學ニ三十人、理科大學ニ十三人、農科大學ニ五十三人ナリトス而シテ各分科大學學生ノ總數ニ對キ百分比例ヲ算出シ其多ノ順序ニ依リ之ヲ列擧スレハ法科ニ係ルモノ四十四人五分六厘、工科ニ係ルモノ十六人五分四厘、醫科ニ係ルモノ十五人一分四厘、文科ニ係ルモノ十四人三分四厘、農科ニ係ルモノ六人二厘、理科ニ係ルモノ三人四分ニ當リ其順位亦前年度ト異ナルコトナシ

本年度大學院在院滿期ノ者八十八人、分科大學卒業ノ學生ハ法科大學ニ百六十八人、醫科大學ニ九十八人、工科大學ニ百四十一人、文科大學ニ八十八、理科大學ニ七十九人、農科大學ニ二人、農科大學ニ十三人、卒業ノ生徒ハ醫科大學ニ八十四人、工科大學ニ四人、文科大學ニ二人、理科大學ニ一人、農科大學ニ九十六人、計百八十七人ニシテ前年度ニ比スレハ大學院在院滿期ノ者ニ四十二人ヲ減シ卒業ノ學生ニ六十一人ヲ增シ卒業ノ生徒ニ十一人ヲ減セリ而シテ其分科大學學生ニ係ルモノヲ細別スレハ法科大學ニ十五人、醫科大學ニ一人ヲ減少セリ

本年度入學志願者ハ大學院ニ在リテハ百四十八人、分科大學學生ニ在リテハ法科大學ニ三百九十人、醫科大學ニ百十五人、工科大學ニ二百三十人、文科大學ニ百四十四人、理科大學ニ四十七人、農科大學ニ八十人、計千六人、同生徒ニ在リテハ法科大學ニ二十三人、醫科大學ニ百三十人、工科大學ニ一人、文科大學ニ三十人、理科大學ニ七人、農科大學ニ六百五人、計七百九十六人、總計千九百五十人其中入學者ハ大學院ニ百四十八人、分科大學學生ニ九百三十人、生徒ニ二百二十一人ニシテ分科大學學生ニ在リテハ其志願者中入學シ得サリシモノ工科大學ニ七十一人、理科大學ニ五人アルノ外ハ悉ク入學シタルモノトス其入學者ヲ前年度ニ比スレハ大學院學生ニ六十七人ヲ減シ分科大學學生ニ二十二人同生徒ニ三人ヲ增セリ而シテ分科大學學生中研究科ニ係ル者ヲ除キ其他ノ入學學生九百十一人ニ就キ其從前ノ教育ヲ擧クレハ高等學校卒業八百八十七人、學習院卒業十六人、分科大學選科修業又ハ他ノ帝國大學修業等八人ニシテ其年齡ヲ示セハ左ノ如シ

法科大學

	年	月	醫科大學	年	月	工科大學	年	月	文科大學	年	月	理科大學	年	月	農科大學	年	月
最多	二八	一	二六	一		二九	〇		三一	〇		二五	二		二八	六	
少	一九	八	二〇	三		一八	七		一九	三		一九	〇		一九	一〇	
平均	二三	六	二三	九		二三	〇		二三	三		二一	八		二三	三	

本年度中學途退學者ハ大學院學生三十五人、分科大學學生七十二人、同生徒二十八人ニシテ在學中死亡セシ者ハ大學院學生二人、分科大學學生十一人同生徒四人ナリ而シテ學生、生徒各百人ニ對スル退學者ノ比例ヲ擧クレハ大學院學生ニ在リテハ五人一厘、分科大學ニ在リテハ二人二分、同生徒ニ在リテハ四人七分一厘ノ比例ニ當レリ又其退學事由ニ就キ之ヲ區別スレハ大學院學生ニ在リテハ家事係累ノタメ退學シタル者三十四人、疾病ニ因リ退學シタル者二人、分科大學學生ニ在リテハ家事係累ノタメ退學シタル者三十四人、疾病ニ因リ退學シタル者九人、京都帝國大學ヘ轉學セシ者十五人授業料不納等ニ因リ退學ヲ命シタル者十三人、品行不良ニ因リ退學ヲ命シタル者一人、同生徒ニ在リテハ家事係累等ノタメ退學シタル者十一人、疾病ニ因リ退學シタル者二人、學業不進ニ因リ退學ヲ命シタル者二人、授業料不納等ニ因リ退學ヲ命シタル者五人ナリ而シテ學途退學者ノ數及死亡者ノ數ヲ直年度ニ比スレハ學途退學者ハ大學院學生ニ十六人、分科大學學生ニ十八人、同生徒ニ二十一ヲ減シ死亡者ハ大學院學生ニ一人、分科大學學生ニ八人同生徒ニ一人ヲ減セリ

茲ニ本學ノ教員學生、生徒、卒業者、入學志願者、入學者ノ細別及累年比較ヲ示セハ左ノ如シ

第七一八六號　官報

東京帝國大學(明治三十八年度)

種別	教員 教授	教員 助教授	教員 囑託	教員 外國教師	教員 計	學生生徒 計	卒業者 學生生徒 計	入學志願者 學生生徒 計	入學者 學生生徒 計	入學志願者百人ニ對スル入學者ノ比例 學生生徒 計
大學院	一	一	一	一	一	六九八	一	一四八	一四八	一〇〇・〇〇
法科大學	一〇	五	一〇	四	三九	一、四五七	一八八	三九〇	三九〇	一〇〇・〇〇
醫科大學	一三	一二	三	一	三八	四九五	八二	一一五	一一五	一〇〇・〇〇
工科大學	二五	一七	二	一	六二	五四一	一四五	二三〇	二三〇	一〇〇・〇〇
文科大學	一六	四	二三	八	五一	四六九	二	一四四	一四四	一〇〇・〇〇
理科大學	一一	七	八	一	三六	一一一	八二	三〇	一七四	八九・三六
農科大學	一六	一八	一一	二	四八	一九七	一四七	五四	四二	一〇〇・〇〇
總計	一二一	六四	七三	一六	二七四	三、九六八	八〇五	六〇五	六八九	一〇〇・〇〇
三十七年度	一一八	六一	七六	一五	二七〇	三、五七四	一、一七八	七八二	七四二	一〇〇・〇〇
三十六年度	一一一	八三	一五	二七〇	三、一〇二	四五三	一、二四五	一、九六〇	一、一三	一〇〇・〇〇
三十五年度	一〇六	五七	七六	二五六	二、九三四	四七一	一、二六一	一、四五四	一、二一四	一〇〇・〇〇
三十四年度	一〇四	五一	七二	一八	二四五	二、六七〇	四五一	一、二一二	※	四〇・六 四四

本表大學院學生ノ欄ニハ各分科大學ニ於テ研究スル者ヲモ合算シ各分科大學ノ部ニハ之ヲ計入セス、學生卒業ノ欄※印ハ在院滿期ノ者ナリ、各分科大學ニ於ケル選科及醫科大學ニ於ケル國家醫學講習科修了者ハ之ヲ卒業者ノ欄ニ掲載セス、各分科大學ニ於ケル研究科修了者ハ之ヲ掲載セス

又明治三十八年度ニ係ル大學院及分科大學ノ學生、生徒卒業者、入學志願者、入學者ノ學科別ヲ示セハ左ノ如シ

東京帝國大學學生生徒卒業者入學志願者入學者學科別(明治三十八年度)

種別		學生生徒 第一學年	學生生徒 第二學年	學生生徒 第三學年	學生生徒 第四學年	學生生徒 計	卒業者 學生生徒 計	入學志願者 學生生徒 計	入學者 學生生徒 計
法科大學	法科ニ關スル事項	三四八				三四八	五二	三七	三七
	醫科ニ關スル事項	二				二	一	一	一
	工科ニ關スル事項	九九				九九	七	三六	三六
	文科ニ關スル事項	一一二				一一二	一	三五	三五
	理科ニ關スル事項	七九				七九	五	三三	三三
	農科ニ關スル事項	三六				三六	七	八	八
	計	三四八				三四八	五二	三七	三七
法科	法律學科	二八九	二三七	二〇四	※一七 一八	九一九	一〇五	一七七	一七七
	政治學科	一	二六	八三	※ 九〇	五三八	六三	一	一
法學大學	法律學科	一	一	一	一	一	一	七	七
	政治學科	一	一	一	一	一	一	七	七
	計	一	一	一	一	一	一	七	七
合計		五一七	三六三	二八七	二九〇	一、四五七	一六八	一三〇	一三〇

種別		學生生徒 第一學年	學生生徒 第二學年	學生生徒 第三學年	學生生徒 計	卒業者 學生生徒 計	入學志願者 學生生徒 計	入學者 學生生徒 計
醫科大學	醫學科	一	一	一	一	一	一	一
	藥學科	一	一	一	一	一	一	一
	研究科	一	一	一	一	一	一	一
	計	一	一	一	一	一	一	一
理科大學	數學科	一	一	一	一	一	一	一
	星學科	一	一	一	一	一	一	一
	物理學科	一	一	一	一	一	一	一
	化學科	一	一	一	一	一	一	一
	動物學科	一	一	一	一	一	一	一
	植物學科	一	一	一	一	一	一	一
	地質學科	一	一	一	一	一	一	一
	研究科	一	一	一	一	一	一	一
	計	一	一	一	一	一	一	一
文科大學	哲學科	一	一	一	一	一	一	一
	史學科	一	一	一	一	一	一	一
	文學科	一	一	一	一	一	一	一
	研究科	一	一	一	一	一	一	一
	計	一	一	一	一	一	一	一
選科	哲學科	一	一	一	一	一	一	一
	史學科	一	一	一	一	一	一	一
	文學科	一	一	一	一	一	一	一
	計	一	一	一	一	一	一	一
合計		四六九	三一	一八	四六九	三四	九四	九四
工科大學	土木工學科	一	一	一	一	一	一	一
	機械工學科	四七	三三	一九	一一八	七七	一一	一一
	造船學科	三三	二五	×	一一八	七七	一一	一一
	造兵學科	八	一	一	一	一	一	一
	電氣工學科	二四	二四	九	一一五	七〇	一一	一一
	建築學科	一一	一一	一一	三三	三三	一一	一一
	應用化學科	一一	一一	一七	四	五〇	四	四
	採鑛及冶金學科	一四	一九	×	一一	一一	一	一
	造兵學科	一	×	×	一	一	一	一
	採鑛及冶金學科	一	一	一	一	一	一	一
	計	一九二	一六八	一五八	一九二	一二三	一四一	一四一
選科	採鑛及冶金學科	一	×	×	×	×	×	×
	計	一	×	×	×	×	×	×
合計		一九二	一六八	一五八	一九二	一二三	一四一	一四一
國家醫學講習科		一	一	一	一	一	一	一
合計		一一六	一三八	一〇八	一三一	一一六	一三四	一三四
法科大學	法學科	一	一	一	一	一	一	一
	政治學科	一	一	一	一	一	一	一
選科	法學科	一	一	一	一	一	一	一
	政治學科	一	一	一	一	一	一	一
	計	一	一	一	一	一	一	一
合計		一一六	一三八	一〇八	一三一	一一六	一三四	一三四

第 71186 号

	化學科	動植物學科	計	農學科	農藝化學科	林學科	獸醫學科	計	合計
學選科	一	一	一	一	一	一	一	一	五
大學實科	一	一	一	三三	一九	一九	一二	一二	五〇
	一	一	一	二四	九	一二	一八	一六	二六
	一	一	一	一三	一二	一八	一三	七	三〇
	一	一	一	一	七一	四五	五六	五五	一一一
	×	×	×	×	四五	五六	二五	二五	×
	一	一	一	三	一	一	一	一	三
	一	一	一	五	一	一	一	一	五
	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	×	×	×	一四	一	一	一	一	一四
	一	一	一	一	一	一	一	一	一

地名	貸付金（年利）最高	貸付金（年利）最低	貸付金（年利）平均	貸付金 月末利息	當座預金貸越（百圓ニ付キ日歩）最高	當座預金貸越（百圓ニ付キ日歩）最低	當座預金貸越（百圓ニ付キ日歩）平均	當座預金貸越 月末利息	手形割引歩合（百圓ニ付キ日歩）最高	手形割引歩合（百圓ニ付キ日歩）最低	手形割引歩合（百圓ニ付キ日歩）平均	月末割引歩合	定期預金（年利）最高	定期預金（年利）最低	定期預金（年利）平均	定期預金 月末利息	當座預金 最高	當座預金 最低	當座預金 平均	當座預金 月末利息	貯蓄預金（年利）最高	貯蓄預金（年利）最低	貯蓄預金（年利）平均	貯蓄預金 月末利息
本州中區																								
東京	銭 一〇〇〇	銭 〇・六〇	銭 〇・八二	銭 一〇・〇	銭 一・七	銭 一・〇	銭 一・〇	銭 一・〇	銭 一〇・〇	銭 一〇・〇	銭 一〇・〇	銭 一〇・〇	銭 〇・六〇	銭 〇・五一	銭 〇・五一	銭 〇・四八	銭 〇・六〇	銭 〇・五一	銭 〇・五一	銭 〇・四八	銭 〇・六〇	銭 〇・五一	銭 〇・五一	銭 〇・四八
八王子	一〇〇〇	〇・九〇	一・〇一	一・一一	一・七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
横濱	一〇〇〇	〇・五八	〇・八三	一・一一	一・八	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
小田原	一〇〇〇	〇・七〇	一・〇一	一・一一	一・八	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
川越	一〇〇〇	〇・九一	一・〇一	一・一一	一・八	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
熊谷	一〇〇〇	〇・八四	〇・九五	一・一〇	一・八	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
本庄	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九五	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
浦和	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九五	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
千葉	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
成田	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
銚子	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
水戸	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
土浦	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
古河	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
宇都宮	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
足利	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
栃木	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
福島	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
桐生	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
館林	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
伊勢崎	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
長野	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
上田	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
松本	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九三	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
甲府	一〇〇〇	〇・七〇	〇・八八	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
濱松	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九〇	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
沼津	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九五	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
二俣	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九〇	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
掛川	一〇〇〇	〇・七〇	〇・九〇	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
名古屋	一〇〇〇	〇・八〇	〇・九一	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
豊橋	一〇〇〇	〇・七〇	〇・八八	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
岡崎	一〇〇〇	〇・七〇	〇・八八	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
一宮	一〇〇〇	〇・七〇	〇・八八	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
津	一〇〇〇	〇・七〇	〇・八八	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
四日市	一〇〇〇	〇・七〇	〇・八八	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八
上野	一〇〇〇	〇・七〇	〇・八八	一〇・〇	一・七七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・六〇	〇・五一	〇・五一	〇・四八

地名	貸付金（年利）最高	貸付金（年利）最低	貸付金（年利）平均	貸付金 月末利息	當座預金貸越（百圓ニ付キ日歩）最高	當座預金貸越（百圓ニ付キ日歩）最低	當座預金貸越（百圓ニ付キ日歩）平均	當座預金貸越 月末利息	手形割引歩合（百圓ニ付キ日歩）最高	手形割引歩合（百圓ニ付キ日歩）最低	手形割引歩合（百圓ニ付キ日歩）平均	月末割引歩合	定期預金（年利）最高	定期預金（年利）最低	定期預金（年利）平均	定期預金 月末利息	當座預金 最高	當座預金 最低	當座預金 平均	當座預金 月末利息	貯蓄預金（年利）最高	貯蓄預金（年利）最低	貯蓄預金（年利）平均	貯蓄預金 月末利息
桑田	銭 一〇〇〇	銭 〇・七〇	銭 〇・八〇	銭 一〇・〇	銭 一・七	銭 一・〇	銭 一・〇	銭 一・〇	銭 一〇・〇	銭 一〇・〇	銭 一〇・〇	銭 一〇・〇	銭 〇・五一	銭 〇・五一	銭 〇・五一	銭 〇・四八	銭 〇・五一	銭 〇・五一	銭 〇・五一	銭 〇・四八	銭 〇・五一	銭 〇・五一	銭 〇・五一	銭 〇・四八
山田	一〇〇〇	〇・八一	〇・八八	一〇・〇	一・七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
尾鷲	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
阜	〇・七一	〇・七一	〇・七一	〇・七一	一・六	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
高岡	〇・八〇	〇・七三	〇・八〇	一〇・〇	一・七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
山	〇・九〇	〇・八〇	〇・八〇	一〇・〇	一・七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
高岡	〇・九五	〇・八〇	〇・八〇	一〇・〇	一・七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
長岡	〇・九五	〇・八〇	〇・八〇	一〇・〇	一・七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
新潟	〇・七九	〇・七一	〇・七九	一〇・〇	一・七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
本州北區																								
減	九	九	八	二〇	二四	二四	二五	三一	三〇	二八	二	四	四	四	四	一六	一〇	一二	一一	一二	二	一	一	二
前年同月比較増減																								
前年同月平均	一・六	〇・九〇	一〇・〇二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
前月平均	一〇・〇七	〇・八一	〇・九五	二三・二一	二・八九	二・六五	二・八九	二三・一一	二・四一	二・七七	二・四一	二・五四	二・五四	二・五四	二・五四	二・五四	二・五四	二・五四	二・五四	二・五四	二・五四	二・五四	二・五四	二・五四
平均	一〇・〇〇	〇・八〇	〇・八〇	二二・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二二・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
伏木	一〇・〇九	〇・九九	〇・九九	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
魚津	一〇・〇五	〇・九五	〇・九五	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
高岡	一〇・〇〇	〇・八〇	〇・八〇	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
富山	一〇・〇二	〇・九六	〇・九六	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
小松	一〇・〇二	〇・九六	〇・九六	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
大聖寺	一〇・〇〇	〇・八〇	〇・八〇	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
七尾	一〇・〇七	〇・九八	一〇・〇九	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
金澤	一〇・〇一	〇・八〇	〇・八〇	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
武生	一〇・〇〇	〇・九五	〇・九五	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
福濱	一〇・〇〇	〇・九〇	〇・九〇	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
敦賀	一〇・〇〇	〇・九〇	〇・九〇	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
小濱	一〇・〇〇	〇・九〇	〇・九〇	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
長濱	一〇・〇〇	〇・七七	〇・八二	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
大津	一〇・〇〇	〇・七七	〇・八二	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
根津	一〇・〇〇	〇・八四	〇・八六	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
大垣	一〇・〇〇	〇・九六	〇・九六	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
八幡	一〇・〇〇	〇・九〇	〇・九〇	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
高崎	一〇・〇〇	〇・八〇	〇・八〇	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
岐阜	一〇・〇〇	〇・八〇	〇・八〇	二〇・〇〇	二・七〇	二・五〇	二・七〇	二〇・〇〇	二・三〇	二・五〇	二・三〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
尾鷲	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
阜	〇・七一	〇・七一	〇・七一	〇・七一	一・六	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
高岡	〇・八〇	〇・七三	〇・八〇	一〇・〇	一・七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
山	〇・九〇	〇・八〇	〇・八〇	一〇・〇	一・七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
高岡	〇・九五	〇・八〇	〇・八〇	一〇・〇	一・七	一・〇	一・〇	一・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八	〇・五一	〇・五一	〇・五一	〇・四八
長岡	〇・九五	〇・八〇	〇・八〇	一〇・〇	一・七

地名	貸付金（年利）最高	貸付金（年利）最低	貸付金（年利）平均	貸付金（年利）月末現在高	貸出金利息 当座預金歩合（百圓ニ付日歩） 最高	当座預金歩合（百圓ニ付日歩） 最低	当座預金歩合（百圓ニ付日歩） 平均	当座預金歩合（百圓ニ付日歩） 月末現在	手形割引歩合（百圓ニ付日歩） 最高	手形割引歩合（百圓ニ付日歩） 最低	手形割引歩合（百圓ニ付日歩） 平均	手形割引歩合（百圓ニ付日歩） 月末現在	預金利息 定期預金（年利）最高	定期預金（年利）最低	定期預金（年利）平均	定期預金（年利）月末現在	当座預金（百圓ニ付日歩） 最高	当座預金（百圓ニ付日歩） 最低	当座預金（百圓ニ付日歩） 平均	当座預金（百圓ニ付日歩） 月末現在	貯蓄預金（年利）最高	貯蓄預金（年利）最低	貯蓄預金（年利）平均	貯蓄預金（年利）月末現在
米澤	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	一・一〇	一・一〇	一・一〇	一・一〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
酒田	一一・一〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	一・一〇	一・一〇	一・一〇	一・一〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
鶴岡	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	一一・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	一・一〇	一・一〇	一・一〇	一・一〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇	〇・〇〇
酒田	一一・一

地名	貸付金（年利）最高	貸付金（年利）最低	貸付金（年利）平均	貸出金利息 當座預金貸越（百圓ニ付キ日歩）最高	當座預金貸越 最低	當座預金貸越 平均	手形割引歩合（百圓ニ付キ日歩）最高	手形割引歩合 最低	手形割引歩合 平均	定期預金（年利）最高	定期預金 最低	定期預金 平均	預金利息 當座預金（百圓ニ付キ日歩）最高	當座預金 最低	當座預金 平均	貯蓄預金（年利）最高	貯蓄預金 最低	貯蓄預金 平均
熊本	割一〇一	割一〇一	割〇・九二	割三〇〇	割三〇〇	割〇・八八	割一・六〇	割一・六〇	割一・六〇	割〇・五五	割〇・五五	割〇・五五	割〇・五五	割〇・五五	割〇・五五	割〇・五四	割〇・五四	割〇・五四
高瀬	一・三五	一・〇九	〇・八五	三・〇〇	二・四五	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
大分	一・〇〇	一・〇〇	〇・八八	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
中津	一・〇〇	一・〇〇	〇・八八	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
伯杵	一・〇〇	一・〇〇	〇・八八	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
佐賀	一・〇〇	一・〇〇	〇・八八	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
長洲	一・〇〇	一・〇〇	〇・九二	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
宮崎	一・〇〇	一・〇〇	〇・九二	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
飫肥	一・〇〇	一・〇〇	〇・九二	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
延岡	一・〇〇	一・〇〇	〇・九二	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
細島	一・〇〇	一・〇〇	〇・九二	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
鹿児島	一・〇〇	一・〇〇	〇・九六	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
平均	一・〇〇	一・〇〇	〇・九一	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
前月平均	一・〇〇	一・〇〇	〇・八六	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
前年同月平均	一・〇〇	一・〇〇	〇・九六	三・〇〇	二・四〇	〇・八八	一・六〇	一・六〇	一・六〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五五	〇・五四	〇・五四	〇・五四
前月比較増減	△五	△一〇	△一三	△一四	△一四	△一四	△一九	△一九	△一九	△〇・〇五	△〇・〇五	△〇・〇五	△〇・〇五	△〇・〇五	△〇・〇五	△〇・〇四	△〇・〇四	△〇・〇四
前年同月比較増減	△一二	△一〇	△一三	△一四	△一四	△一四	△一九	△一九	△一九	△〇・〇五	△〇・〇五	△〇・〇五	△〇・〇五	△〇・〇五	△〇・〇五	△〇・〇四	△〇・〇四	△〇・〇四
沖縄																		
那覇	一・一〇	一・一〇	一・一〇	四・五〇	四・〇〇	四・三六	四・〇〇	四・〇〇	四・〇〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一	一	一
前月平均	一・〇〇	一・〇四	一・〇九	四・五〇	四・〇〇	四・三〇	四・〇〇	四・〇〇	四・〇〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一	一	一
前年同月平均	一・〇〇	一・〇一	一・〇一	四・五〇	四・〇〇	四・〇〇	四・〇〇	四・〇〇	四・〇〇	〇・五五	〇・五五	〇・五五	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一	一	一
前月比較増減	一	△六	△一	一	一	△六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
前年同月比較増減	一〇	二〇	九	一	一	△一四	△五〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
北海道																		
函館	〇・九一	〇・八〇	〇・八七	一・九〇	一・三〇	一・六四	一・七〇	一・七〇	一・七〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	一	一	一
小樽	一・二八	〇・九六	〇・九四	三・五〇	二・三〇	二・七六	二・〇〇	一・九〇	一・九〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	一	一	一
札幌	一・〇〇	一・〇一	一・〇一	三・五〇	三・〇〇	三・五〇	二・〇〇	一・九〇	一・九〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	一	一	一
根室	一・〇一	一・〇一	一・〇一	三・五〇	三・〇〇	三・六〇	二・〇〇	一・九〇	一・九〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	一	一	一
平均	一・〇九	〇・九一	〇・九一	三・八〇	三・〇〇	三・六〇	二・〇〇	一・九〇	一・九〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	一	一	一
前月平均	一・〇六	〇・九三	一・〇〇	三・四三	三・〇七	三・六〇	二・〇〇	一・九〇	一・九〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	一	一	一
前年同月平均	一・〇一	一・〇一	一・〇一	三・七五	三・〇五	三・四一	二・〇〇	一・九〇	一・九〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	一	一	一
前月比較増減	△七	△一	一	△一〇	△一	△一	△一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
前年同月比較増減	六	九	七	四一	一五	二一	二九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
金國平均	一・一一	〇・八四	〇・九八	三・一八	二・五一	二・八〇	二・〇〇	一・九〇	一・九〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	一	一	一
前月平均	一・一二	〇・八四	〇・九八	三・一八	二・五一	二・八一	二・〇〇	一・九〇	一・九〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	一	一	一
前年同月平均	一・一一	〇・九二	一・〇七	三・二八	二・五六	三・〇四	二・〇六	一・九〇	一・九〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	〇・八〇	一	一	一
前月比較増減	△一	△一	△一	一	△一	△一	△一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
前年同月比較増減	九	一〇	九	二〇	二四	二六	二七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

又同年二月中臺灣金利ノ高低左ノ如シ（以上大藏省）

臺北	最高	最低	平均
南平	一・四六	〇・九五	一・二〇
前月平均	一・四六	〇・九三	一・二一
前年比較増減	一	〇・九三	一・二一
	△一	△四	△七
	一	二五	一

○産業

○害蟲發生　宮城縣知事ヨリ報告アリタル害蟲發生ノ概況左ノ如シ（農商務省）

志田郡古川町外四箇村及伊具郡小齊村ノ稻苗ニ去月三十日螟蟲發生シ其區域見積段別二町九段歩ニ渉リ漸次蔓延ノ兆アルヲ以テ專ラ驅除中ナリ

○畜牛結核病檢査成績　明治三十九年畜牛結核病檢査成績左ノ如シ（農商務省）

檢査成績

道府縣	牛數（ツベルクリン注射ヲ要セサルモノ）	牛數（ツベルクリン注射ヲ要スルモノ）	計	健康牛	疑症牛	輕症牛	症牛	重症牛	發病	斃死
北海道	四、二六九		四、二六九	一二、一九九	一二〇	五〇				
東京	二、一八八	二、六六八	三、八五六	三、四五四	一四〇	二、二五八	六二			
京都	一、九五七	一、三九一	三、三四八	二、九九九	二八〇					
大阪	二、四八三	二、六五五	五、一三八	四、二九〇	七三六	九三				
神奈川	一、四〇三	四、六一七	六、〇二〇	五、七一一	八	二〇六				
兵庫	一、〇一一	四、一七七	五、一八八	五、〇二二	二〇六	四九				
長崎	一、三三四	五、五八五	六、九一九	六、八一四	一八	一八				
新潟	六三六	六、八一八	七、七六二	六、七六二	七一	三七				
埼玉	七三八	八三四	一、五七二	一、三五五	九	二五				
群馬	一、〇八四	二、八四六	三、七三〇	二、四三二	三六	二〇七				
千葉	七六三	二、七二〇	二、四七三	二、四三二	七	一一				
茨城	一、〇二一	一、四二二	二、四四三	一、一八五	四	三四				
栃木	四五一	五八八	一、〇三九	五五一	二四	一六二				
愛知	三一〇	三一〇	六二〇	五三一	七	一〇				
三重	一、〇一〇	九二一	一、九八九	一、七八九	二六六	二三				
奈良	一、〇一四	一、〇三〇	二、〇四四	二、〇四一	一一	六三四				
和歌山	六八三	一、三五七	二、〇四〇	三、五七六	一七	二七				
岡山	四五一	五八一	一、〇三二	一、二六六	八五一	八四				
福岡	二四七	三六五	二、三二二	二、二九九	二八〇	八〇				
熊本	三三九	二、九六九	二、三二二	二、二九九	二八〇	八〇				
宮崎	一、九八六	一、七一一	三、六九七	四、一二九	一一	五一				
鹿児島	五五三	四四〇	九七三	七、〇一六	三三	三三				
沖縄	八六七	六、六七七	一、五五〇	二、一五九	一〇	一五				
計	二八二九	二、八二九	五、五七八	三、一二五	一〇	一一				
本年一月以來發病頭數百三十三頭ナリ	二四七	二、九六九	二、九六九	二、二三二	六三	一六				
	三六五	二三、三三四	二三、三三四	一七、一二五	一一	一一				
	一、九八六	一、九八六	一、九八六	七、一九一	二一	三一				
	五〇二	七、一九一	七、一九一	七、六四七	一一	二一				
	二七八	六、五四六	六、五四六	六、七四一	一一	二〇				
	五二一	二、七六七	二、七六七	六、一〇三	六七	二四				
	五二一	五、五九一	五、五九一	五、九八〇	一七	一一				
	一、三八〇	一、七二九	一、七二九	一、六六〇	六七	三七				
	三六九	一、六八〇	一、六八〇	一、六九四	三一	八				
	一、五六〇	一、六六〇	一、六六〇	一、六九四	三一	八				
	三七六	五八一七	六四三八	六四〇六	二五	三				

○特許、商標登錄　特許局ニ於テ去月二十一日ヨリ同三十一日マテニ特許、商標ヲ登錄セシモノ左ノ如シ（農商務省）

縣	發病	斃死
廣島（ハ）	一	一
香川（ハ）	一	一
計	四	四
本年一月以來發病頭數四十二頭ナリ		

府縣	家羅斯 發病	家羅斯 斃死
東京	一	一
群馬	一	一
計	二	二
本年一月以來發病頭數三十頭ナリ		

縣	炭疽 發病	炭疽 斃死
兵庫（牛）	一	一
岡山（ハ）	二	二
福岡（ハ）	一	一
熊本（ハ）	一	一
宮崎（馬）	三	三
鹿児島（牛）	七	七
鹿児島（馬）	五	五
沖縄（牛）	一	一
計	二四	二四
本年一月以來發病頭數二百八十五頭ナリ		

縣	狂犬病 發病	狂犬病 斃死	狂犬病 快復
道府縣	一		一
北海道	一		一
東京	一		一
神奈川	一		一
群馬	一		一
千葉	二		二
茨城	七		七
岐阜	一		一
福島	一		一
山形	一		一
秋田	一		一
計	一五		一五
本年一月以來發病頭數二百八十五頭ナリ			

縣	疑似胸膜肺炎 發病	疑似胸膜肺炎 斃死
青森（犬）	一	一
福岡（ハ）	一	一
計	二	二
本年一月以來發病頭數二頭ナリ		

○獸疫　北海道廳外一府十九縣ノ屆出ニ係ル去月中獸疫調査左ノ如シ（農商務省）

縣	牛	馬	豚	羊	犬	計
廣島	九八四	四、七一〇	五、六九四	一	一	一
山口	六三一	四八一〇	五、四四一	一	一	一
和歌山	三三四	一、一九六	一、五五〇	一	一	一
徳島	二一六	四、四一七	四、六四三	一	一	一
香川	一、六八〇九	一、七〇二五	一、七〇七	一	一	一
愛媛	五五二	六、一一四	六、〇七〇	一	一	一
高知	二九〇一	三、三二二	三、三〇八	二	二	二
福岡	一四九七	二、三七七	二、五二四	一	一	一
大分	八八〇	二、二二二	二、五二二	二	二	二
佐賀	三八五	一、六〇五	一、九四〇	一	一	一
熊本	四七九	五八二九	一、九九〇	二四	二四	二四
宮崎	一五二	三、四九七	六、二〇八	一〇	一〇	一〇
鹿児島	八〇七	二、二六九	三、〇七四	一五	一五	一五
沖縄	一三〇	一	一三〇			
計	三七、四四〇	二五一、八一五	二八九、二五五	二、七九二	五、五二二	一一二

（備考）和歌山縣ニ於テ檢査牛數ニ對シ成績ニ於テ一頭ノ不足アルハ疑症ト爲ルヘキ增温アルモノ一頭アルニ因ル

内國種ナルヲ以テ檢査未濟再檢査ヲ要スルモノ一頭アルニ因ル

71186

特許

特許番號	發明名稱	特許證主氏名
二三三三	別子敷敷器	愛媛縣 鈴木 筆太郎
二三三四	蠶籾	東京府 佐藤 衛治
二三三五	溜蒸液ヲ自働的ニ射液槽ニ給選スル裝置	ウイリアム、チヤーレス、ビネー、ハーウード、サミユエル、リード 英國
二三三六	安全浮豆釣（名ク防火浮釣）	三重縣 津田 豐
二三三七	教授用珠算器	東京府 仲手 留吉
二三三八	金剛砥製造法	大阪府 日本金剛砥株式會社
二三三九	西木式掛金	埼玉縣 福田 松
二三四〇	廣島縣	廣島縣
二三四一	鐵帶裁斷機	大阪府 駿島 廣太郎
二三四二	鐵絲整調裝置	東京府 石井太喜之助
二三四三	鐵方式驗液器	同 高柳 芳一
二三四四	大泉式測量器	宮城縣 大泉 宗治
二三四五	瓦斯爐	東京府 東京瓦斯株式會社
二三四六	深江式製袋機	深江 小太郎
二三四七	粉末袋詰機械	同 小林 友三郎
二三四八	大和琉璃瓶切器	千葉縣 飯田 作次郎
二三四九	壓力計	東京府 和田 嘉衛
二三五〇	綠茶製造機械	靜岡縣 石原 清吉
二三五一	冷熱器	岡山縣 山崎 太郎
二三五二	河北式針敷機	千葉縣 河北 卯吉
二三五三	陶器地旋盤	福島縣 鈴木 次三郎
二三五四	綿布「シルケット」精製機	愛媛縣 磯一郎
二三五五	木製銃床	米國 ウイリヤム、フランクリン、コール
二三五六	宮內式連發空氣銃	廣島縣 宮內 林次郎
二三五七	蒸汽機械	埼玉縣 木村 喜藏
二三五八	萩野式口紙挿入機	東京府 萩野 直彥
二三五九	電ノ藥筒ノ改良	和田 繁吉
二三六〇	水壓壓退機	獨逸國 株式會社「ブリードリッヒ、クルップ」
二三六一	破甲彈	同 カルル、グリューンワルド
二三六二	金剛砂鑢砥石製造法	岡茂福直吉 山田 丑太郎
二三六三	自在安體蓋	山城 躍太郎
二三六四	鞣革型合機	廣島縣 英國 ウイリアム、クワツソン、ライト
二三六五	空中ニ擲射セル器機ヲシテ地上ニ達セシムヘキ裝置	獨逸國 アルフレッド、マウル
二三六六	敬器	東京府 川口 市太郎
二三六七	面替硝	福岡縣 北岡 福三郎
二三六八	絣織機	同 井上 惣吉
二三六九	環狀織機	愛知縣 豊田 佐吉
二三七〇	甘蔗搾碎機械	佐藤 新太郎
二三七一	織機	愛知縣 善太郎
二三七二	織機ノ汗槽ノ遮蔽ニ依リ止時間ヲ與フル機械	岡戸伊右衛門
二三七三	提燈製造機	三重縣 竹田 善兵衛
二三七四	入造燒料製造法	愛知縣 磯貝 鈴五郎
二三七五	松島式「フーバルブ」	英國 「ゼ、コンポジツト、フユエル、シンジケート、リミテッド」
二三七六	淨ちんぶ	大阪府 松島 吾六
二三七七	曲線自在製圖	神奈川縣 境 衛
二三七八	機	東京府 阿部
二三七九	買形交具管	愛知縣 西鳴 兵太郎
二三七〇	買用燈心	東京府 平井 勝次郎
二三八〇	金園出張採收	同 御法川直三郎
二三八一	第二川崎式無點石油發動機	大阪府 川島 爲吉
二三八二	被服仲張器	東京府 久保田友太郎
二三八三	無點火石油發動機	東京府 菊井 勉樂
二三八四	鍵連動動機	大阪府 山田 喜三郎
二三八五	富貴盤	神奈川縣 村井 寛
二三八六	「ガーター」「T字形U字形鐵レール」等ニ展成シタル物品	東京府 田島 喜八
二三八七	織維質植物ノ體誤脫水方法	東京府 ウイリアム、チヤーレス、ビネー、ハーウード、サミユエル、リード 英國
二三八八	極井式絣絲製造機	福岡縣 極井 貞吉
二三八九	自働轉換器	同 內田 鉄平
二三九〇	生糊染色法	愛知縣 山田 齊藤 巳之助
二三九一	德永式回轉製壜器械	大阪府 德永 豐次郎
二三九二	電話口滑遊器	靜岡縣 稻野 山五郎
二三九三	自働投票機	伊太利 「モノライン コムポージング、カムパニー」
二三九四	一行組立機械ノ改良	米國 「ポジアノ コーゼニオ、」
二三九五	熊燈草製助成劑ノ解機	松原 久兵衛
二三九六	書籍消印器械	獨逸國 「パウル、ヂルベ」
二三九七	電氣冶金方法	佛國 「マルセール、ベルトロイド、アンネ、マリー、ガードナー」
二三九八	火災用救命綱	東京府 藤井 藤吉郎
二三九九	逆木式水礎	愛知縣 逆木 吉藏
二三〇〇	四ツ目式眼鏡測定框	東京府 佐々木房太郎
二三〇一	平井式井堀製作機	同 平井 勝次郎
二三〇二	弧光燈ノ調整裝置	オスカール、ケーニッツブー
二三〇三	獨逸國	獨逸國
二三〇四	棕櫚編機製作機械	千葉縣 島光 忠藏
二三〇五	「インキ」携帶具兼用「インキ」壺	東京府 藤村 寅吉
二三〇六	電氣機械洗染ノ改良絕緣裝置	米國 ゼッセ、イ、マチブ
二三〇七	捺染機	山水 榮吉
二三〇八	火屋	山內 半兵衛
二三〇九	絣絲括機	奈良縣 安川 甚五郎
二三一〇	蘭長短撰別機	岡山縣 細田 留三郎
二三一一	絹織御召	京都府 長島 卯一郎

商標

登錄番號	商品名	登錄證主氏名
二九五二一	招附木	大阪府 富木 林兵衛
二九五二二	木竹材一切	東京府 福島兌左衛門
二九五二三	鍛物、打物、彫鑄品、絹物、其他一切ノ金屬製品	大阪府 金永 利三郎
二九五二四	香料、燻料並ニ他類ニ屬セサル化粧品一切	同 春吉
二九五二五	清酒	兵庫縣 米澤 長藏
二九五二六	木綿織物	大阪府 野村 利兵衛
二九五二七	白粉、化粧水、化粧下、香水、香油、髮油、其他他類ニ屬セサル一切ノ化粧品	同 荀蔭 薛一
二九五二八	綿絲	兵庫縣 「カルロウイツ ソウンド、コムパニー」
二九五二九	各種ノ劑子	大阪府 岸上 新助
二九五三〇	各種ノ劑子	大阪府 「タオル」、「ゾポン」下、手拭、襁衣、「ゾポン」下、其他一切ノ日利安製品及新服
二九五三一	袋足袋ノ日利安其他一切ノ日利安製品及新服	同 西村 金次郎
二九五三二	各種ノ劑子	同 田中 兵次郎
二九五三三	「タオル」、手拭、襁衣、「ゾポン」下、其他一切ノ新服	兵庫縣 陰山合名會社
二九五三四	機械油其他一切ノ動物性、植物性油	大阪府 富地 梅吉
二九五三五	一切ノすし	同 栗林 トキ
二九五三六	染料、顏料、及媒染料	神奈川縣 合名會社「ウロフセル、ウンド、コムパニー」
二九五三七	獨逸染料	內國
二九五三八	獨逸染料	大阪府 岡部 ツネ
二九五三九	木綿織物	東京府 會社 日本染織株式會社
二九五三〇	味噌、醬物及漬物類	泉山 醬油合名會社
二九五三一	寒粉	青森縣 東京府 東亞製粉株式會社
二九五三二	木綿織物	大阪府 背木 壓藏
二九五三三	同	同 山口 玄洞
二九五三四	鋸（大鋸ヲ除ク）	兵庫縣 赤松 幾三郎
二九五三五	木綿二子襟及木綿更紗ヲ除ケル木綿織物一切	東京府 長園 富郎
二九五三六	炭	大阪府 西川 芳藏
二九五三七	「メリヤス」其他一切但襪類ノ一切但選擇製被服類ヲ除ク	兵庫縣 ケイ、ハッサム
二九五三八	誤製品及護謨製被服類ヲ除ク	大阪府 石井 勝治郎
二九五三九	鍵及叺	和歌山 池田 新次郎
二九五四〇	石油	愛知縣 愛知縣織物會社
二九五四一	絹織物	大阪府 田邊 五兵衛
二九五四二	清酒	同 山口 玄洞
二九五四三	化學品、藥劑、醫療補助品	福島縣 式會社
二九五四四	木綿織物	北海道 陶崎
二九五四五	木綿織物	福島縣 羽二重株式會社
二九五四六	鍵及叺	大阪府 今枝 利市郎
二九五四七	化學品、藥劑、醫療補助品	大阪府 今枝 利市郎
二九五四八	木綿織物	福島縣 羽二重株式會社
二九五四九	同	北海道 陶崎
二九五五〇	同	同 山口 玄洞
二九五五一	石鹼	兵庫縣 赤松 幾三郎
二九五五二	丸藥、食利別、水藥、越幾斯、散藥、軟膏、錠藥	福島縣 羽二重株式會社
二九五五三	同	北海道 陶崎
二九五五四	同	兵庫縣 赤松 幾三郎
二九五五五	同	同 山口 玄洞
二九五五六	同	同 山口 玄洞
二九五五七	同	同 山口 玄洞
二九五五八	同	同 山口 玄洞
二九五五九	同	同 山口 玄洞
二九五六〇	同	同 山口 玄洞
二九五六一	同	同 山口 玄洞
二九五六二	同	同 山口 玄洞
二九五六三	同	同 山口 玄洞
二九五六四	同	同 山口 玄洞
二九五六五	同	同 山口 玄洞
二九五六六	同	同 山口 玄洞
二九五六七	同	同 山口 玄洞
二九五六八	同	同 山口 玄洞
二九五六九	同	同 山口 玄洞
二九五七〇	同	同 山口 玄洞
二九五七一	同	同 山口 玄洞
二九五七二	同	同 山口 玄洞
二九五七三	同	同 山口 玄洞
二九五七四	同	同 山口 玄洞
二九五七五	同	同 山口 玄洞
二九五七六	同	同 山口 玄洞
二九五七七	同	同 山口 玄洞
二九五七八	同	同 山口 玄洞
二九五七九	同	同 山口 玄洞
二九五八〇	同	同 山口 玄洞
二九五八一	同	同 山口 玄洞
二九五八二	同	同 山口 玄洞
二九五八三	同	同 山口 玄洞
二九五八四	同	同 山口 玄洞
二九五八五	同	同 山口 玄洞
二九五八六	同	同 山口 玄洞
二九五八七	同	同 山口 玄洞
二九五八八	同	同 山口 玄洞
二九五八九	同	同 山口 玄洞
二九五九〇	同	同 山口 玄洞
二九五九一	同	同 山口 玄洞
二九五九二	同	同 山口 玄洞
二九五九三	同	同 山口 玄洞
二九五九四	同	同 山口 玄洞
二九五九五	同	同 山口 玄洞
二九五九六	同	同 山口 玄洞
二九五九七	同	同 山口 玄洞
二九五九八	同	同 山口 玄洞
二九五九九	同	同 山口 玄洞
二九六〇〇	同	同 山口 玄洞
二九六〇一	同	同 山口 玄洞
二九六〇二	同	同 山口 玄洞
二九六〇三	同	同 山口 玄洞
二九六〇四	同	同 山口 玄洞
二九六〇五	同	同 山口 玄洞
二九六〇六	同	同 山口 玄洞
二九六〇七	同	同 山口 玄洞
二九六〇八	同	同 山口 玄洞
二九六〇九	同	同 山口 玄洞
二九六一〇	同	同 山口 玄洞
二九六一一	同	同 山口 玄洞
二九六一二	同	同 山口 玄洞
二九六一三	同	同 山口 玄洞
二九六一四	同	同 山口 玄洞
二九六一五	同	同 山口 玄洞
二九六一六	同	同 山口 玄洞
二九六一七	同	同 山口 玄洞
二九六一八	同	同 山口 玄洞
二九六一九	同	同 山口 玄洞
二九六二〇	同	同 山口 玄洞
二九六二一	同	同 山口 玄洞
二九六二二	同	同 山口 玄洞
二九六二三	同	同 山口 玄洞
二九六二四	同	同 山口 玄洞
二九六二五	同	同 山口 玄洞
二九六二六	同	同 山口 玄洞
二九六二七	同	同 山口 玄洞
二九六二八	同	同 山口 玄洞
二九六二九	同	同 山口 玄洞
二九六三〇	同	同 山口 玄洞
二九六三一	同	同 山口 玄洞
二九六三二	同	同 山口 玄洞
二九六三三	同	同 山口 玄洞
二九六三四	同	同 山口 玄洞
二九六三五	同	同 山口 玄洞
二九六三六	同	同 山口 玄洞
二九六三七	同	同 山口 玄洞
二九六三八	同	同 山口 玄洞
二九六三九	同	同 山口 玄洞
二九六四〇	同	同 山口 玄洞
二九六四一	同	同 山口 玄洞

登錄番號	商品名	登錄證主氏名
二九六四二	香料、燻料及他類ニ屬セサル化粧品一切	大阪府 中山 小三郎
二九六四三	同	「デヨ井ス、アンド、ローレンス、カムパニー」
二九六四四	向用舍利別劑	米國
二九六四五	摺附木	兵庫縣 田中 喜八
二九六四六	丸藥、散藥、煉藥、水劑、錠劑、化學品、醫療補助品、藥劑一切	東京府 鹽原 又策
二九六四七	香水、化粧香水、結晶香水、口中香料、香粉、香油、香袋、香粉、化粧水、白粉下、髮膏、練香、炷香、煉香、練油、水油、薔薇水、「クリーム」、「ポマード」、「ジエリ」、「いかだ」、梅花油、「水白粉」、「煉白粉」、「粉白粉」、「パンドリン」、「ブリチン」及他類ニ屬セサル化粧品一切	同 平尾 鑿平
二九六四八	「デヨコレート」、「トラ以ナ型」、又ハ之ヲ含ム一切	米國 サー、ロバート、ウッシヤー、サー、アレキサンダー、オリヴアー、リツヂ、エームス、ウッシヤー、「ゼ、ウオルタ、エム、ローニー、カムパニー」
二九六四九	西洋菓子一切	滋賀縣 西山 喜兵衛
二九六五〇	鐵鍋、鹽鍋、斧、鋸、小刀、剃刀、庖丁、鎚、針、鉄、蛇、鍋、木鋏、散髮鋏、「バリガン」、其他剃髮尖刃器一切	福井縣 加藤 春次郎
二九六五一	編織物一切	兵庫縣 原 由太郎
二九六五二	「ヂヨコレート」及「カカフ」	熊本縣 寢田 卯作
二九六五三	「ヂヨコレート」及「カカフ」	北海道 白絞油、菜種油、北海道「サロッチ、チヨコラーデン、ウンド、カカフ、トリ、イン、ヂチエン、ゲゼルシヤフト」 獨逸國 株式會社
二九六五四	「タオル」、手拭	大阪府 牧野 定助
二九六五五	齒磨、洗髮洗液	和歌山 桃谷 政次郎
二九六五六	齒磨、洗髮洗液	大阪府 桃谷 政次郎
二九六五七	天瓜粉	兵庫縣 原 由太郎
二九六五八	醬油	熊本縣 寢田 卯作
二九六五九	白絞油、菜種油	北海道 北海製油株式會社
二九六六〇	「ヂヨコレート」及「カカフ」	獨逸國 「サロッチ、チヨコラーデン、ウンド、カカフ、トリ、イン、ヂチエン、ゲゼルシヤフト」
二九六六一	牧畜	定助
二九六六二	酒ヲ除ク	大阪府 桃谷 政次郎
二九六六三	石鹼	大阪府 日野 新三郎
二九六六四	各種ノ菓子及麵麭類一切	奈良縣 山田 留三郎
二九六六五	木綿織物	兵庫縣 萬田 吉太郎
二九六六六	同	同 橋本 治郎七
二九六六七	縞、縮、叺、俵其他叢草及他類ニ屬セサル其製品一切	大阪府 逸爵 末吉
二九六六八	のぼせ引下ケ血ノ道用ノ湯	長崎縣 竹谷 藤吉
二九六六九	丸藥	同 木田忠左衛門
二九六七〇	衣服、襦袢、腹引、「ゾポン」下、半ズボン、「サル」、股、蛙股、襁褓、胸當、手袋、腕拔、手拭、西洋手拭、手巾、靴下、足袋、冠、帽子、前掛、涎掛、着卷、腹卷、腹巻、外套、肩「マント」其他被服類一切（但酒ヲ除ク）	東京府 逸爵 末吉
二九六七一	自轉車及轉成部分	兵庫縣 橋本 次郎七
二九六七二	胃腸病用ノ丸藥、散藥、水藥、煉藥、錠藥、膏藥、浸藥、生藥、藥油、丁幾劑、舍利別劑	奈良縣 日本賣藥合資會社
二九六七三	奈良縣	大阪府 日野 新三郎
二九六七四	奈良縣	奈良縣 山田 留三郎
二九六七五	奈良縣	兵庫縣 萬田 吉太郎
二九六七六	木綿織物	同 橋本 治郎七
二九六七七	各種ノ菓子及麵麭類一切	東京府 長園 富郎
二九六七八	木綿織物	大阪府 大崎 代吉
二九六七九	醬油	靜岡縣 山下 富三郎
二九六八〇	同	靜岡縣 神谷 繁藏
二九六八一	木綿織物一切	奈良縣 小林 徳次郎
二九六八二	自轉車及轉成部分	兵庫縣 橋本 次郎七
二九六八三	胃腸病用ノ丸藥、散藥、水藥、煉藥、錠藥、膏藥、浸藥、生藥、藥油、丁幾劑、舍利別劑	奈良縣 日本賣藥合資會社
二九六八四	奈良縣	大阪府 日野 新三郎
二九六八五	奈良縣	奈良縣 山田 留三郎
二九六八六	兵庫縣	兵庫縣 萬田 吉太郎
二九六八七	木綿織物	同 橋本 治郎七
二九六八八	同	東京府 長園 富郎
二九六八九	同	大阪府 西川 芳藏
二九六九〇	同	兵庫縣 ケイ、ハッサム
二九六九一	同	大阪府 石井 勝治郎
二九六九二	同	和歌山 池田 新次郎
二九六九三	同	愛知縣 愛知縣織物會社
二九六九四	同	大阪府 田邊 五兵衛
二九六九五	同	同 山口 玄洞
二九六九六	同	福島縣 式會社
二九六九七	同	北海道 陶崎
二九六九八	同	福島縣 羽二重株式會社
二九六九九	同	大阪府 今枝 利市郎
二九七〇〇	同	大阪府 今枝 利市郎
二九七〇一	同	福島縣 羽二重株式會社
二九七〇二	同	北海道 陶崎
二九七〇三	同	兵庫縣 赤松 幾三郎
二九七〇四	同	同 山口 玄洞
二九七〇五	同	同 山口 玄洞
二九七〇六	同	同 山口 玄洞
二九七〇七	同	同 山口 玄洞
二九七〇八	同	同 山口 玄洞
二九七〇九	同	同 山口 玄洞
二九七一〇	同	同 山口 玄洞
二九七一一	同	同 山口 玄洞
二九七一二	同	同 山口 玄洞
二九七一三	同	同 山口 玄洞
二九七一四	同	同 山口 玄洞
二九七一五	同	同 山口 玄洞
二九七一六	同	同 山口 玄洞
二九七一七	同	同 山口 玄洞
二九七一八	同	同 山口 玄洞
二九七一九	同	同 山口 玄洞
二九七二〇	同	同 山口 玄洞
二九七二一	同	同 山口 玄洞
二九七二二	同	同 山口 玄洞
二九七二三	同	同 山口 玄洞
二九七二四	同	同 山口 玄洞
二九七二五	同	同 山口 玄洞
二九七二六	同	同 山口 玄洞
二九七二七	同	同 山口 玄洞
二九七二八	同	同 山口 玄洞
二九七二九	同	同 山口 玄洞
二九七三〇	同	同 山口 玄洞
二九七三一	同	同 山口 玄洞
二九七三二	同	同 山口 玄洞
二九七三三	同	同 山口 玄洞
二九七三四	同	同 山口 玄洞
二九七三五	同	同 山口 玄洞
二九七三六	同	同 山口 玄洞
二九七三七	同	同 山口 玄洞
二九七三八	同	同 山口 玄洞
二九七三九	同	同 山口 玄洞
二九七四〇	同	同 山口 玄洞
二九七四一	同	同 山口 玄洞
二九七四二	同	同 山口 玄洞
二九七四三	同	同 山口 玄洞
二九七四四	同	同 山口 玄洞
二九七四五	同	同 山口 玄洞
二九七四六	同	同 山口 玄洞
二九七四七	同	同 山口 玄洞
二九七四八	同	同 山口 玄洞
二九七四九	同	同 山口 玄洞
二九七五〇	同	同 山口 玄洞
二九七五一	同	同 山口 玄洞
二九七五二	同	同 山口 玄洞
二九七五三	同	同 山口 玄洞
二九七五四	同	同 山口 玄洞
二九七五五	同	同 山口 玄洞
二九七五六	同	同 山口 玄洞
二九七五七	同	同 山口 玄洞
二九七五八	同	同 山口 玄洞
二九七五九	同	同 山口 玄洞
二九七六〇	同	同 山口 玄洞
二九七六一	同	同 山口 玄洞
二九七六二	同	同 山口 玄洞
二九七六三	同	同 山口 玄洞
二九七六四	同	同 山口 玄洞
二九七六五	同	同 山口 玄洞
二九七六六	同	同 山口 玄洞
二九七六七	同	同 山口 玄洞
二九七六八	同	同 山口 玄洞
二九七六九	同	同 山口 玄洞
二九七七〇	同	同 山口 玄洞
二九七七一	同	同 山口 玄洞
二九七七二	同	同 山口 玄洞
二九七七三	同	同 山口 玄洞
二九七七四	同	同 山口 玄洞
二九七七五	同	同 山口 玄洞
二九七七六	同	同 山口 玄洞
二九七七七	同	同 山口 玄洞
二九七七八	同	同 山口 玄洞
二九七七九	同	同 山口 玄洞
二九七八〇	同	同 山口 玄洞
二九七八一	同	同 山口 玄洞
二九七八二	同	同 山口 玄洞
二九七八三	同	同 山口 玄洞
二九七八四	同	同 山口 玄洞
二九七八五	同	同 山口 玄洞
二九七八六	同	同 山口 玄洞
二九七八七	同	同 山口 玄洞
二九七八八	同	同 山口 玄洞
二九七八九	同	同 山口 玄洞
二九七九〇	同	同 山口 玄洞
二九七九一	同	同 山口 玄洞
二九七九二	同	同 山口 玄洞
二九七九三	同	同 山口 玄洞
二九七九四	同	同 山口 玄洞
二九七九五	同	同 山口 玄洞
二九七九六	同	同 山口 玄洞
二九七九七	同	同 山口 玄洞
二九七九八	同	同 山口 玄洞
二九七九九	同	同 山口 玄洞
二九八〇〇	同	同 山口 玄洞
二九八〇一	同	同 山口 玄洞
二九八〇二	同	同 山口 玄洞
二九八〇三	同	同 山口 玄洞
二九八〇四	同	同 山口 玄洞
二九八〇五	同	同 山口 玄洞
二九八〇六	同	同 山口 玄洞
二九八〇七	同	同 山口 玄洞
二九八〇八	同	同 山口 玄洞
二九八〇九	同	同 山口 玄洞
二九八一〇	同	同 山口 玄洞
二九八一一	同	同 山口 玄洞
二九八一二	同	同 山口 玄洞
二九八一三	同	同 山口 玄洞
二九八一四	同	同 山口 玄洞
二九八一五	同	同 山口 玄洞
二九八一六	同	同 山口 玄洞
二九八一七	同	同 山口 玄洞
二九八一八	同	同 山口 玄洞
二九八一九	同	同 山口 玄洞
二九八二〇	同	同 山口 玄洞
二九八二一	同	同 山口 玄洞
二九八二二	同	同 山口 玄洞
二九八二三	同	同 山口 玄洞
二九八二四	同	同 山口 玄洞
二九八二五	同	同 山口 玄洞
二九八二六	同	同 山口 玄洞
二九八二七	同	同 山口 玄洞
二九八二八	同	同 山口 玄洞
二九八二九	同	同 山口 玄洞
二九八三〇	同	同 山口 玄洞
二九八三一	同	同 山口 玄洞
二九八三二	同	同 山口 玄洞
二九八三三	同	同 山口 玄洞
二九八三四	同	同 山口 玄洞
二九八三五	同	同 山口 玄洞
二九八三六	同	同 山口 玄洞
二九八三七	同	同 山口 玄洞
二九八三八	同	同 山口 玄洞
二九八三九	同	同 山口 玄洞
二九八四〇	同	同 山口 玄洞
二九八四一	同	同 山口 玄洞
二九八四二	同	同 山口 玄洞
二九八四三	同	同 山口 玄洞
二九八四四	同	同 山口 玄洞
二九八四五	同	同 山口 玄洞
二九八四六	同	同 山口 玄洞
二九八四七	同	同 山口 玄洞
二九八四八	同	同 山口 玄洞
二九八四九	同	同 山口 玄洞
二九八五〇	同	同 山口 玄洞
二九八五一	同	同 山口 玄洞
二九八五二	同	同 山口 玄洞
二九八五三	同	同 山口 玄洞
二九八五四	同	同 山口 玄洞
二九八五五	同	同 山口 玄洞
二九八五六	同	同 山口 玄洞
二九八五七	同	同 山口 玄洞
二九八五八	同	同 山口 玄洞
二九八五九	同	同 山口 玄洞
二九八六〇	同	同 山口 玄洞
二九八六一	同	同 山口 玄洞
二九八六二	同	同 山口 玄洞
二九八六三	同	同 山口 玄洞
二九八六四	同	同 山口 玄洞
二九八六五	同	同 山口 玄洞
二九八六六	同	同 山口 玄洞
二九八六七	同	同 山口 玄洞
二九八六八	同	同 山口 玄洞
二九八六九	同	同 山口 玄洞
二九八七〇	同	同 山口 玄洞
二九八七一	同	同 山口 玄洞
二九八七二	同	同 山口 玄洞
二九八七三	同	同 山口 玄洞
二九八七四	同	同 山口 玄洞
二九八七五	同	同 山口 玄洞
二九八七六	同	同 山口 玄洞
二九八七七	同	同 山口 玄洞
二九八七八	同	同 山口 玄洞
二九八七九	同	同 山口 玄洞
二九八八〇	同	同 山口 玄洞
二九八八一	同	同 山口 玄洞
二九八八二	同	同 山口 玄洞
二九八八三	同	同 山口 玄洞
二九八八四	同	同 山口 玄洞
二九八八五	同	同 山口 玄洞
二九八八六	同	同 山口 玄洞
二九八八七	同	同 山口 玄洞
二九八八八	同	同 山口 玄洞
二九八八九	同	同 山口 玄洞
二九八九〇	同	同 山口 玄洞
二九八九一	同	同 山口 玄洞
二九八九二	同	同 山口 玄洞
二九八九三	同	同 山口 玄洞
二九八九四	同	同 山口 玄洞
二九八九五	同	同 山口 玄洞
二九八九六	同	同 山口 玄洞
二九八九七	同	同 山口 玄洞
二九八九八	同	同 山口 玄洞
二九八九九	同	同 山口 玄洞
二九九〇〇	同	同 山口 玄洞
二九九〇一	同	同 山口 玄洞
二九九〇二	同	同 山口 玄洞
二九九〇三	同	同 山口 玄洞
二九九〇四	同	同 山口 玄洞
二九九〇五	同	同 山口 玄洞
二九九〇六	同	同 山口 玄洞
二九九〇七	同	同 山口 玄洞
二九九〇八	同	同 山口 玄洞
二九九〇九	同	同 山口 玄洞
二九九一〇	同	同 山口 玄洞
二九九一一	同	同 山口 玄洞
二九九一二	同	同 山口 玄洞
二九九一三	同	同 山口 玄洞
二九九一四	同	同 山口 玄洞
二九九一五	同	同 山口 玄洞
二九九一六	同	同 山口 玄洞
二九九一七	同	同 山口 玄洞
二九九一八	同	同 山口 玄洞
二九九一九	同	同 山口 玄洞
二九九二〇	同	同 山口 玄洞
二九九二一	同	同 山口 玄洞

○觀象

○全國氣象

六月十一日

區域	測候所	氣壓	溫度	風	雨量	天氣
一	函館	午後八時	午後八時	午後八時	午後八時	午後八時
	室蘭	八六六・〇	一六・〇	北東	〇・〇	曇
	寿都	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	小樽	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	留萌	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	旭川	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	網走	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	根室	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	釧路	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	帯広	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	浦河	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	青森	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	秋田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	山形	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	酒田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	新潟	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	高田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長野	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	高山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	金沢	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福井	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	敦賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
二	舞鶴	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	京都	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大阪	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	神戸	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	和歌山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鳥取	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	浜田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	松江	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大分	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福岡	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	佐賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	熊本	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鹿児島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	宮崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	名瀬	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
三	大阪	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	京都	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	神戸	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	彦根	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	名古屋	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	静岡	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	横浜	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	東京	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	銚子	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	八丈島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
四	父島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	仙台	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	宮城	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	盛岡	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	青森	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	秋田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	山形	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	酒田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	新潟	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	高田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長野	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	高山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	金沢	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福井	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	敦賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
五	舞鶴	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	京都	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大阪	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	神戸	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	和歌山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鳥取	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	浜田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	松江	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大分	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福岡	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	佐賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	熊本	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鹿児島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	宮崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	名瀬	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
六	福井	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長野	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	高山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	金沢	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	敦賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	舞鶴	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	京都	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大阪	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	神戸	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	和歌山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鳥取	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	浜田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	松江	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大分	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福岡	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	佐賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	熊本	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鹿児島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	宮崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	名瀬	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
七	福井	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長野	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	高山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	金沢	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	敦賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	舞鶴	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	京都	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大阪	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	神戸	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	和歌山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鳥取	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	浜田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	松江	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大分	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福岡	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	佐賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	熊本	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鹿児島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	宮崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	名瀬	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
八	宮古	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	石巻	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	金華山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	山形	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	酒田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	新潟	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	高田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長野	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	高山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	金沢	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福井	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	敦賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	舞鶴	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	京都	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大阪	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	神戸	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	和歌山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鳥取	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	浜田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	松江	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大分	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福岡	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	佐賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	熊本	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鹿児島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	宮崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	名瀬	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
九	宮古	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	石巻	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	金華山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	山形	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	酒田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	新潟	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	高田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長野	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	高山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	金沢	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福井	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	敦賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	舞鶴	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	京都	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大阪	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	神戸	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	和歌山	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鳥取	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	浜田	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	松江	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	大分	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	福岡	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	佐賀	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	長崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	熊本	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	鹿児島	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	宮崎	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇
	名瀬	八六六・〇	一六・〇	北西	〇・〇	曇

○天氣概況　昨日午後山東角附近ニ顯レタル低氣壓ハ徐々北東ニ向ヒ今朝遼東半島附近ニ在リ又日本海北部ニ低氣壓存在ス氣壓ハ全國通シテ下降シ高氣壓部位ハ本州南東海岸ニ擴張ス北海道北部及南西諸島ニハ晴天ノ所多シト雖モ其他ハ概シテ曇天シテ日本海南部沿岸ヨリ朝鮮海峡ニハ一帶ニ降雨シツヽアリ大連及仁川ニハ濃霧發生シ水澤モ亦濃霧ヲ報ス全國概ネ南ノ風吹キ日本海沿岸ハ風力頗ル強キ所アリ

氣溫ハ全國ヲ通シ著シク上昇シ平年ニ比シ各地トモ頗ル高ク今朝臺灣南部ノ恒春ハ二十六度三紗那ハ十一度ヲ報ス

○低氣壓概報

二一九、　三日ヨリ五日ニ至ル臺灣水道ヨリ來レル低氣壓　三日ノ早朝臺灣水道ニ顯レ北東ニ進ミ支那東海ヲ横キリ四日ノ夜奄美大島附近ヲ經テ大平洋ニ入リ五日ノ午後二時頃八丈島ノ南方ヲ東ニ向ヒ通過ス　最低氣壓　七百五十二粍

○全國天氣豫報

六月十四日

第一區　北又ハ東ノ風、概ネ晴但シ雨模樣ノ所アリ

第二區　北又ハ西ノ風、概ネ曇但シ雨模樣アリ

第三區　第二區ニ同シ

第四區　第二區ニ同シ

第五區　第二區ニ同シ

第六區　第二區ニ同シ

第七區　第二區ニ同シ

第八區　第二區ニ同シ

第九區　北又ハ東ノ風、概ネ曇但シ雨模樣アリ

第十區　第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

六月十三日午前九時發　北又ハ西ノ風曇雨模樣アリ

六月十三日午後四時發　南又ハ西ノ風、雨後霽レル

○暴風警報　風雨ノ稍烈シキ虞アリ六月十三日午前八時二十五分五、六、八乃至十區ノ海陸ヲ警戒ス

○地震　熊本ノ地震報告左ノ如シ

六月十三日　午前六時六分二十三秒　微（感覺ナシ）　性質　（以上中央氣象臺）

○廣告

○官報、法令全書、職員錄發賣手續

一　官報、法令全書、職員錄ハ左記ノ區分ニ從ヒ本局又ハ官報販賣所ニ申込ミ購求セラルヘシ

一本局　各官廳並ニ官報販賣所販賣區域外購求者

　但シ各官廳購求ニ係ル法令全書及職員錄ハ本局直賣ノ外當分ノ内官報販賣所ニ於テモ販賣ス

一官報販賣所　各官報販賣所販賣區域内購求者

二　購求者ハ其配達ヲ受クヽキ場所（府縣郡市町村番地）、住所氏名及購求セラルヽ官報（何月分ヨリ又ハ何月何日分ヨリ）、法令全書（何年第何號又ハ何年第何號ヨリ、何年發刊索引目錄）、職員錄（何年發刊）ヲ明記シタル書面ヲ以テ申込マルヘシ

三　官報、法令全書、職員錄ハ左記ノ定價ヲ以テ發賣ス

一官報一箇月（月ノ初日ヨリ末日マテ）　金六十錢　配送費共

　但シ月ノ中途ヨリ購求ヲ始ムルモノ及月ノ中途ニテ購求ヲ止ムルモノハ一部（號外添付）金三錢ヲ以テ計算ス

一官報一部　金三錢　配送費共

　但シ發刊當日ノ一部賣ニハ號外ヲ添付セス

一官報號外一部　金二錢　配送費共

　但シ特ニ號外ノミ購求ヲ望マルヽ場合ニ限シ

一法令全書一部　金十二錢　配送費凡ソ金三錢

　但シ外國ヘ發送スルモノハ配送費實費ヲ要ス又東京市内ニテ官報販賣所ヨリ購求セラルヽ向ハ配送費ヲ要セス

一既往法令全書（嘉應三年十月ヨリ明治十七年十二月マテ十七部）一部金五十錢　配送費實費

　但シ東京市内ニテ官報販賣所ヨリ購求セラルヽ向ハ配送費ヲ要セス

一同上索引目錄（甲、乙二冊）一部金一圓配送費實費

　但シ同上

一職員錄一部（甲、乙二冊）金六十錢配送費凡ソ金二十錢

　但シ外國ヘ發送スルモノハ配送費實費ヲ要ス又東京市内ニテ官報販賣所ヨリ購求セラルヽ向ハ配送費ヲ要セス

四　水局直賣ノ向ニシテ官報、法令全書、職員錄ノ代價等ヲ納付セラルヽトキハ第二項ニ準シ調製シタル納付書ニ現金、仕拂命令、郵便爲替（東京郵便局ヲ拂渡局ト爲シタルモノ）手形又ハ小切手ヲ添ヘ本局ニ送付セラルヘシ

五　官報販賣所ヨリ購求セラルヽ官報、法令全書、職員錄ノ代價等ヲ拂込マルヽトキハ前項ニ準シ會計年度ヲ越エサル範圍ニ於テ三箇月分ヲ限度トシ前金ヲ以テ其官報販賣所ニ拂込マルヘシ

六　配達ヲ受クヽキ場所住所氏名ノ變更又ハ購求ヲ廢止ハ官報ニ付キテハ其前月マテニ法令全書ニ付キテハ其月十五日マテニ本局ニ並官報販賣所ヨリ購求セラルヽ向ハ官報販賣所ヨリ總テ本局ヨリ發送スルヲ以テ其不達等ノトキハ豫テ到著スヘキ日割ヨリ二週間以内ニ配達郵便局ノ檢印（局名印）ヲ受ケ再發方本局ニ請求セラルヘシ

七　法令全書、職員錄ニシテ本局ノ發送ニ係ルモノ豫定期間ニ到著セサルトキハ其翌月末日マテニ再發方本局ニ請求セラルヘシ

八　但シ東京市内ニテ官報販賣所ヨリ購求セラルヽモノハ官報販賣所ニ於テ之カ配達ヲ爲ス義ニ付キ其向ハ官報販賣所ニ請求セラルヘシ

九　購求者代價等ヲ納付シタルトキハ解約スルヲ得ス之ヲ第三者ニ讓渡シタルトキハ讓渡人讓受人連署ヲ以テ通知セラルヘシ

購求者注意

一法令全書ハ一月中發布ニ係ル法令ヲ第壹號トシテ二月ニ發刊スルモノトス（以下毎號之ニ倣フ）故ニ何年何月トセス何年第何號法令全書ト稱フルヲ便宜トス

一同索引目錄ハ明治三十九年中發布ノ法令ニ關スルモノヲ明治三十九年法令全書索引目錄トシテ同四十年ニ發刊スルノ例ナリ

一職員錄ハ毎年發刊甲、乙二冊ヲ一部トシテ發賣ス

明治四十年五月

印刷局

位置　大日本圖書株式會社

東京市京橋區銀座一丁目

大阪市西區靭中通一丁目

東京市上京區三條通東洞院東入

名古屋市大手町四丁目

廣島市大手町二丁目

熊本市博多中島町

新潟市本町通四番町

金澤市片町

仙臺市東三番町十八番地

官報販賣所

東京府住所區

東京市麻布區

神奈川縣橘樹郡

大阪府東成郡

京都府葛野郡

兵庫縣武庫郡

和歌山縣伊達郡

滋賀縣三重郡

愛知縣愛知郡

岐阜縣

靜岡縣

三重縣

愛媛縣

福岡縣

廣島縣

岡山縣

高知縣

長崎縣

佐賀縣

大分縣

宮崎縣

鹿児島縣

沖繩縣

熊本縣

長野縣

富山縣

福井縣

石川縣

新潟縣

宮城縣

福島縣

秋田縣

山形縣

北海道

千葉縣

茨城縣

栃木縣

埼玉縣

山梨縣

群馬縣

岩手縣

青森縣

○華族世襲財産認可

記名特別大日本帝國政府五分利公債證書合計面七万圓

横濱正金銀行株式五十株

記名整理公債證書公債證書合計面十一万二千圓

株式會社十五銀行株式五百株

日本郵船株式會社株式四百二十四株

侯爵德川義禮所有

侯爵山内豐景所有

○藥劑師試驗日割

本年第二回藥劑師試驗科目別左ノ通定ム學說試驗受驗人ハ本年八月二十六日ヨリ同三十日マテノ内ニ受驗地ノ地方廳（東京ノ受驗人ハ午前八時ヨリ同十一時マテ文部省ニ出頭シ受驗人證票ヲ受取ルヘシ

明治四十年六月

月日	科目	時間
九月二日	外科學	午前九時ヨリ正午十二時マテ
同三日	内科學	同上
同四日	産科	同午前九時ヨリ同十一時マテ
九月二日	齒科藥品	同午前九時ヨリ同十一時マテ
同三日	齒科器械	同上
九月五日	解剖學	午前九時ヨリ正午十二時マテ
同六日	生理學	同上
同一日	藥物學	午後一時ヨリ同三時マテ
同二日	眼科學	同上
同一日	齒科病理及治術	午後一時ヨリ同三時マテ
同二日	齒科解剖及生理	同上
同一日	物理學	午後一時ヨリ同三時マテ
同二日	化學	同上

學說試驗受驗人ハ本年八月二十六日ヨリ同三十日マテノ内ニ受驗地ノ地方廳ニ出頭シ受驗人證票ヲ受取ルヘシ

但シ東京ノ受驗人ハ氏名頭字ノいろは順ニ依リ左ノ通文部省ニ出頭シ受驗人證票ヲ受取ルヘシ

いろはにほへとちりぬるを　二十六日（午前八時ヨリ同十一時マテ）

わかよたれそつねならむ　二十七日　同上

うゐのおくやまけふこえて　二十八日　同上

あさきゆめみしひもせす　二十九日　同上

ん　三十日　同上

○藥劑師試驗委員長　足立寛

明治四十年六月　藥劑師試驗委員長　足立寛

第7186号

月日	件目	時間	件目	時間
九月五日	物理學及化學	午前九時ヨリ	化學及植物學	午後一時ヨリ
同六日	植物學及生藥學	正午十二時マテ	同	同三時マテ
		同上	上	同上

○證書無效

第八五六三號 軍艦勇丸船舶國籍證書（所在不明）
第二六三九號 長崎甲種船舶檢査證書
第二三〇號 船舶信號器救命具請賣認可證書 明治三十五年三月二十四日第（紛失）
右届出ニ依リ無效トス

明治四十年六月

所有者 川島 平重
所有者 上野 恒三郎

○貯金通帳亡失及盜難

左記貯金通帳亡失及盜難ニ罹リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ届出ツヘシ

明治四十年六月

遞信省

郵便爲替貯金管理所

記番號	突付局所名	氏名
てにそ 一七四〇	豐前小倉京町局	齋藤太三郎
てき 一三五〇	筑前直方局	山本新助
てゆ 三八五六	筑後大牟田局	背池サキ
てうす 五〇一	同北野局	角道
くひ 一一二二	同深町局	嘉太郎
くはよ 一四六八	同戸谷局	橫川高橋
くろな 三三〇	備前津口局	大田チカト
くはゆ 九一八	同備後横尾局	刈谷松村
恩く 八三六	同福永局	福永與市郎
同 二三六四	同理所	櫻井芳平
同 四四二	高岡局	安太郎
ます 四四〇	大隅大村局	瓜田房德
そち 四五〇	肥前久保田局	平井久郎
そほ 一三七〇	同佐世保常磐	上田清二郎
そちる 一三二八	同	岡本
そいも 四四一八	長崎	山口齊藤
恩そ 九五五	郵便爲替貯金管理所	佐々木富藏
のろ 四四八七	長門萩	久一
のれ 八〇一	同船木	マツヨ
のろの 八六六	同岡川局	末宮
のろの 一四八二	同小野田局	金子ミヨ
むく 四七〇五	周防厚狹	春一
ひほ 一八七〇	高下瀬局	熊平
ひぬ 四二八一	同人吉局	西本成
つり 九二四	熊本堀江局	三次郎
せけ 三六四六	讃岐音寺局	貞治
ひろ 八五四四	同東郷局	高田朝太郎
ほろ 大四四	大隅高崎局	西郷ツメ
ほろな 五一二三	敦賀局	部村ひさ
ほゆ 二三四〇	大阪島局	松本小松
恩ゆ 八一八	櫻津局	三次郎
同 九九	同	岩治郎
同 同	同	岩太郎
いち 九一	同	福松

郵便爲替貯金管理所

記番號	突付局所名	氏名
恩ほ 八三八八	郵便爲替貯金管理所	綿谷宇之松
よく 四〇〇〇	近江土山局	筒井
恩ほ 二〇六九〇	郵便爲替貯金管理所	岩崎勝平
ゐこ 七三三一	大阪天王寺	小路谷つい
ゐほも 九一七	同	大阪梅田局
といゐ 一〇四四九	山城	京都寺町丸太町局
といせ 九五一	丹後	日置局
ぬほ 六四五八	攝津神戸生田局	黃前重太郎
ぬほひ 一〇三二	同播磨	兵庫和田局
ぬろむ 三三六	新宮局	横田
よろつ 近江	中里局	岩崎
よま 四七一二	同武佐局	成田
よゐ 一五四九	同	彦根
に 五六九二	伊勢	宇和島局
ふに 八八一七	同四日市	小笠原
ふた 一五九六	同	榮藏
恩ね 一九二六三	郵便爲替貯金管理所	中西仁三郎
ついゐ 二六七五	土佐	高知
くけ 九二四	安藝	旅島
てはす 一八七	豐前	簑島
てらはい 七六一	同	田島
てはこ 二三五八	同	福原
てにせ 一五九七	筑後	久枝
てにこ 六〇四	筑後	內光
くはを 二八六三	安藝	間
くはき 一一四二	同	光
くろか 三七〇七	備後	廣
くにか 六〇七	同	波
ゐいゐ 一九九九	大阪	橋東
恩ゐ 四九三	攝津	山
恩ゐ 一七九〇	福岡	華
恩ゐ 四七九〇	肥前	作
恩ゐ 一四二〇	對馬	三
それ 九一〇	同	一
そいさ 四七九〇	肥前	右

記番號	突付局所名	氏名
そいひ 一九三〇	同	鶴知
恩ゐ 四二四四	下關郵便爲替貯金管理支所	園田
そろい 二六五六	下關	孫作
恩ゐ 三三六	同	若松
恩ゐ 三三六	長門	島戸
同 一五〇	同	長門
恩ゐ 四二四四	郵便爲替貯金管理支所	竹內
ふいて 一六三九	下關	竹內
ひろな 一五四九	肥後	玉名
清い 二四六二	清水	林
りみ 一五四〇	清水	宇佐
れはり 一二八	武雄	富岡
れそ 三三五七	陸奥	野
らはて 三一九	同	大川
同 一七九	同	津別
しろぬ 九九五	陸前	仙臺
恩ゐ 三三〇	仙臺	原
恩ゐ 三八六	信濃	小諸
ゐろ 九五〇	越後	三條
むはせ 九三〇	同	長岡
同	同	鶴
同	同	知
わいは 四五四三	同	齊藤
恩ゐ 三四三	三河	吉太郎
ころ 九七六三	豐川	淨吉
ゐろて 一〇九六	陸中	又藏
みろめ 五九七	陸中	平
恩ゐ 一七五〇八	郵便爲替貯金管理所	泉
あいく 三一九二	羽前	清川
あれ 二八八八	同	破石
りぬ 二九八七	同	小林
ちろた 二二六	石狩	江澤
恩し 四三五〇	郵便爲替貯金管理所	誠一
わいた 一五〇三	越後	生
めいね 九一五	尾張	原
ちに 一五〇六	名古屋矢場	竹川
恩ゐ 四七〇	同	寶珠花
ちほま 九五〇	同	府中
同	名古屋中山	高田
同	同	島
同	同	小俣
同	同	高橋助左衛門
同	同	西波
同	同	小柴
同	同	相馬
同	同	直夫
同	同	佐
同	同	中山
同	同	民二
同	同	遠江
同	同	石狩
同	同	札幌北八條
同	同	猪井
同	同	トイ

記番號	突付局所名	氏名
恩ほ 九三八八	郵便爲替貯金管理所	綿谷宇之松
よく 四〇〇〇	近江土山局	筒井
恩ほ 二〇六九〇	郵便爲替貯金管理所	岩崎勝平
ゐこ 七三三一	大阪天王寺	小路谷つい
ゐほも 九一七	同	大阪梅田局
といゐ 一〇四四九	山城	京都寺町丸太町局
といせ 九五一	丹後	日置局
ぬほ 六四五八	攝津神戸生田局	黃前重太郎
ぬほひ 一〇三二	同播磨	兵庫和田局
ぬろむ 三三六	新宮局	横田
よろつ 近江	中里局	岩崎
よま 四七一二	同武佐局	成田
よゐ 一五四九	同	彦根
に 五六九二	伊勢	宇和島局
ふに 八八一七	同四日市	小笠原
ふた 一五九六	同	榮藏
恩ね 一九二六三	郵便爲替貯金管理所	中西仁三郎
ついゐ 二六七五	土佐	高知
くけ 九二四	安藝	旅島
てはす 一八七	豐前	簑島
てらはい 七六一	同	田島
てはこ 二三五八	同	福原
てにせ 一五九七	筑後	久枝
てにこ 六〇四	筑後	內光
くはを 二八六三	安藝	間
くはき 一一四二	同	光
くろか 三七〇七	備後	廣
くにか 六〇七	同	波
ゐいゐ 一九九九	大阪	橋東
恩ゐ 四九三	攝津	山
恩ゐ 一七九〇	福岡	華
恩ゐ 四七九〇	肥前	作
恩ゐ 一四二〇	對馬	三
恩ゐ 九一〇	同	一
恩ゐ 四七九〇	肥前	右

記番號	突付局所名	氏名
恩ゐ 六三九二	作並	鈴木
恩ゐ 一八七七六	大上	倉橋
恩の 一八七七六	吉大矢	恩や 九二一九
	真市	內山源三郎
	恩よ 一二七八五	田村外次郎

郵便爲替貯金管理所

記番號	突付局所名	氏名
恩り 一四二六二	恩る 九二三八	加留
恩よ 一二七八五	恩ゐ 九二一九	內山源三郎
恩ゐ 四四二	恩ゐ 一七五〇八	石狩
恩ゐ 二二六八	同	寶珠花
恩ゐ 二二六八	同	府中
恩ゐ 二二六八	同	高田
恩ゐ 二二六八	同	島
恩ゐ 二二六八	同	小俣
恩ゐ 二二六八	同	高橋助左衛門
恩ゐ 二二六八	同	西波
恩ゐ 二二六八	同	小柴
恩ゐ 二二六八	同	相馬
恩ゐ 二二六八	同	直夫
恩ゐ 二二六八	同	佐
恩ゐ 二二六八	同	中山
恩ゐ 二二六八	同	民二
恩ゐ 二二六八	同	遠江
恩ゐ 二二六八	同	石狩
恩ゐ 二二六八	同	札幌北八條
恩ゐ 二二六八	同	猪井
恩ゐ 二二六八	同	トイ

○證券保管通帳亡失

左記證券保管通帳亡失ニ付キ自今無效トス但シ其所在ヲ發見シタルトキハ速ニ郵便爲替貯金管理所ニ通報スヘシ

明治四十年六月

郵便爲替貯金管理所

記番號	作並	吉大矢	大上	真市	恩る 一四二六二	恩よ 一二七八五

○帆別錢徵收許可

明石郡明石港帆別錢徵收ノタメ明治四十五年六月マテ入港船舶ヨリ帆別錢徵收ノ儀其筋ヘ經伺ノ上許可セリ

明治四十年六月

○營業禁止

四十年五月八日

原鑄	京都府下京區木屋町通四條上ル二丁目下樵
木町	六番戶名古屋市西角町九番戶古物商
丹羽郡	大山町百番戶當時名
古屋市	小林町百七十九番戶古物商

四十年五月十一日

名古屋市深井町百番戶古物商
名古屋市橋町四十一番地古物商
五十嵐 勝助
山下 定次郎
大西 要助
市橋 增太郎

兵庫縣

有孰モ古物商取締法第十四條ニ依リ顚書ノ目附ヲ以テ其營業ヲ禁止セリ

明治四十年六月

○購買入札

一	十箇付千四號	三十枚
C	結合繼電器	一箇
四	頭用錨釆	一組
三	「トルションメーター」	一箇

以上入札保證金每藥各自見積價格百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ入札當日マテニ當局調度課用度係ニ就キ見本、仕機書、入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル七月一日午前十一時マテニ入札保證金ヲ納入シ同日午後一時限入札スヘシ即時同課ニ於テ開札ス

此契約ハ鐵道省經理局長関宗喜擔任ス

明治四十年六月十四日

四	「ピッチョメーター」	九箇
五	重量驗壓計	一箇

以上東京納

遞信省經理局

一鐵ボールトナット及坐鐵 十六點
一彈機用鋼類 二點

以上東京納

右水月二十九日當部ニ於テ入札執行
以上入札保證金百分ノ五以上（國
未濟切上ク）
一封鎖用鐵線 五千把
一貨物用鐵楔札 千六百四十六把
一鍍鐵管 千七點
一鋼針金 二種
一彈機用平鋼 二種
一軟鋼板以上新橋納 五十枚
一ハイドロメタル 二十四百五十封

新橋又ハ横濱納

右水月二十一日當部ニ於テ入札執行
右購買ス入札望ノ者ハ當部倉庫課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル七月一日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
一外注第三百七十九號「ニューマチックアパラタス」 五點
一同第三百七十七號 電氣用品 八點

以上入札保證金各自見積代價百分ノ六以上（國未濟切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ會計規則第六十九條第一項ノ證明書竝ニ明治三十三年五月十八日遞信省令第二十號第一條ノ資格證明書ヲ當部倉庫課ニ差出シ入札心得書、契約書案及現場等熟覽ノ上來ル七月三十一日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

以上契約ハ鐵モ帝國鐵道廳計理部長國師民嘉擔任ス

明治四十年六月十四日

千五百封
三百五十箇
四百五十箇
五百二十箇
六百二十箇
七百箇
三百箇
四百箇
五百六十箇
六百箇
六百六十箇

安賀毋尼
「バッファー」用鐵鑄機
同
同
同

正誤

一昨十二日本欄ニ廣島縣廣島人須中清吉氏ヘ送付ノ旨掲載シタルモノハ誤リニシテ同人ハ廣島縣廣島市大字中島字大ノ内ニ居住スルモノニシテ同人ハ廣島縣廣島市大字中島字大ノ内ニ居住スルモノニシテ

○商業登記

一明治四十年五月二十日左ノ所ニ支店ヲ設置ス

明治四十年五月十八日登記

右滑國天津
帝國總領事館

一支店ヲ設置ス

一明治四十年五月二十日左ノ所ニ支店ヲ設置ス

右明治四十年六月十日登記

栃木縣足利郡足利町六字新門前五百十一番地　栃木縣宇都宮市

一株式會社設立登記

一株式會社ノ名稱ハ株式會社一本店ハ滋賀縣蒲生郡八幡町大字八幡字本町二百七十九番地ノ一ニ置ク

一目的ハ織物及ビ其ノ他ノ織物ノ製造販賣ニ關スル一切ノ事業ヲ營ムコトヲ目的トス

一資本ハ金五十萬圓ニシテ一株ノ金額ハ金五十圓ニシテ全部ノ株式ヲ發行ス

一株式ノ一部ハ現物ヲ以テ出資ヲ爲シ其ノ價額ハ金二萬五千圓ニシテ其ノ出資ヲ爲ス者ノ氏名及ビ其ノ出資ノ數ハ左ノ如シ

滋賀縣蒲生郡八幡町大字八幡字本町二百七十九番地　一株式會社代表者　中村利兵衛

一株式會社ノ設立ニ際シ發起人ノ引受ケタル株式ノ數ハ左ノ如シ

滋賀縣蒲生郡八幡町大字八幡字本町二百七十九番地　一株式會社代表者　中村利兵衛

一株式會社ノ設立ニ際シ發起人ノ受ケタル報酬ハ左ノ如シ

株式會社白河商業銀行登記中變更登記
右明治四十年六月六日各株ニ付金十圓宛拂込ミタルニ因リ拂込株金額ヲ金三十圓ト變更ス
右公告ス　白河區裁判所

株式會社羽前長崎銀行寒河江支店登記事項中左ノ通變更ス
一增加シタル各株ニ付キ拂込ミタル株金額ヲ金三十圓ト變更ス
右明治四十年六月八日登記　山形區裁判所寒河江出張所

合資會社五二商會社員退社及新加入ニ依リ左ノ通變更ス
一無限責任社員鎮菊池極雄ハ持分全部ヲ有限責任社員倭田藤次郎ニ讓渡シテ退社ス
一有限責任社員鎮林橋一郎ハ持分全部ヲ有限責任社員倭田藤次郎ニ讓渡シテ退社ス
一繼手縣上閉郡伊都遠野町二百八十九番戶新里嘉助ハ有限責任社員新里善兵衛ノ持分全部ヲ讓受ケ有限責任社員トシテ入社ス
一有限責任社員倭田藤次郎ノ出資額ヲ金三千圓トス
右明治四十年六月八日登記　遠野區裁判所

北海道セメント株式會社登記事項中左ノ通登記ス
一償還シタル社債總額　金五千圓
右明治四十年六月七日　函館區裁判所大野出張所

株式會社登記簿第四號
株式會社登記事項中左ノ通變更ス
一株式會社臺南新報社登記ノ所在地　臺南市戶一四六六番地
一取締役ノ住所ノ左ノ通變更ス
臺南市丁二七一番地
臺南市戶一三八一番地
臺南市丙一三七二番地
臺南市丙九番地
臺南市丙一三八一番地
臺南市丙一四六六番地
臺南市戶一四六六番地
臺南市戶一四六六番地
臺南市戶

○行旅死亡人

身長四尺八寸、面髮黑色、縮ミ毛、顏瘠、長キ方、色青白、鼻小キ方、眼耳口通常、肩刺落シアリ　著衣木綿藍竪横縞裕一、黑粹鼠色縞「ネール」一、紺小倉黑覆輪打合女帶一、縞「ネール」腹卷一　所持品荷物雨合羽一、紺藍竪縞女裕半纏一、木綿縞財布一、白銅五錢一、紺木綿間粹一、紺木綿前掛一、縞「ネール」腹卷一、白金巾二幅風呂敷一、木綿縞切一、手拭製袋一、絲卷二、櫛四、眞鍮指輪一、鋏一、針指一、石鹼一、弘法大師小幅一、赤金巾紐一、白足袋一

右ハ去月三十一日本町小濱蹠島五十番地今川伊三郎方ニ於テ縊死セシヲ以テ檢視濟ノ上假埋葬取計ヒ置ケリ心當ノ者ハ當役場ニ申出テラルヘシ

明治四十年六月五日　福井縣遠敷郡小濱町役場

正誤

本月八日本欄二二六頁下段十四行今井醫三郎ノ住所中東扇數ハ更扇數ノ誤植

○東京郵便局外國郵便締切時限

明十五日門司マテ汽車便送同地ヨリ常陸丸ヲ以テ上海經由香港、印度及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

通常	東京局 十五日午後七時	市內各局 十五日午後五時	價格表記	同日午後七時	同上
書留	同上 半	同上	小包 香港爲替	同上 同日午後四時	同上 同日午後一時

（備考）小包ハ清國（獨逸局所在地、埃及、歐洲（伊太利等ヲ除ク）等宛及蘆溝橋、寧波宛香港小包

同日神戸マテ汽車便送同地ヨリ「オーストラリアン」號ヲ以テ上海經由香港、印度及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

通常	東京局 十五日午後九時	市內各局 十五日午後六時	價格表記	同日午後九時	同上
書留	同上 半	同上	小包 香港爲替	同日午後七時半 同日午後四時	同日午後五時 同日午後一時

（備考）小包ハ交趾支那、印度、埃及、濠洲、歐洲（伊太利等ヲ除ク）等宛

○同上締切豫告

本月二十二、二十九日頃布哇經由、同二十一、二十八日頃タコマ經由、同二十六日頃シアトル經由、同二十九日頃ポートランド經由、同二十一、二十八日頃タコマ經由、同二十六日頃シアトル經由、同二十九日頃加拿陀經由、同二十日頃

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

大連丸　今十四日午後四時横濱出帆神戸行

和歌浦丸　明十五日午後四時横濱出帆、神戸行

山口丸　明後十六日午後四時横濱出帆、本月二十日午前十時神戸出帆、上海行（神戸、門司、長崎經由）（横濱、神戸、樣橋繫留）

松山丸　本月十七日正午十二時横濱出帆、四日市、神戸行

新潟丸　同日午後四時横濱出帆、漢口行（大阪、神戸、門司、上海經由）

錦江丸　同日午後四時横濱出帆、神戸、尾道、門司、境、敦賀、伏木、新潟、酒田、土崎、小樽行（船客ヲ搭載セス）

東郷丸　同十八日未明横濱出帆、狹ノ濱、函館、小樽行

博愛丸　同二十日午前十時横濱出帆、同二十二日午前十時神戸出帆、上海行（神戸、門司、長崎經由）（横濱、神戸、樣橋繫留）

若宮丸　同二十三日未明横濱出帆、函館行

神奈川丸（歐洲行）　同二十六日正午十二時横濱出帆、同二十九日午前十一時神戸出帆、門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、坡西士、馬耳塞、倫敦、安士府行

高砂丸　同日正午十二時横濱出帆、仁川、大連、大沽、牛莊行（四日市、神戸、門司經由）

八幡丸（濠洲行）　同二十九日正午十二時横濱出帆、七月二日午前十時神戸出帆、門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、ダウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

○同上神戸筑出發表

明後十六日午前十時神戸出帆、門司、長崎、釜山、元山、城津、浦潮斯德行

高松丸　同日午前十時函館出帆、本月十七日午後小樽出帆、九春古丹（哥爾篠港）、マウカ行

旅順丸　同日午前十時神戸出帆、香港行（門司、上海經由）

播濃丸　本月十七日午前十時神戸出帆、大連行（宇品、門司經由）

山東丸　同日午後二時神戸出帆、釜山、仁川、芝罘、大沽、牛莊行（門司、長崎經由）

相模丸　同十九日午前十時神戸出帆、釜山、仁川、芝罘、大沽、牛莊行（門司經由）

影島丸　同二十二日午前十時神戸出帆、孟買行（門司、香港、新嘉坡、彼南、マドラス、コロンボ經由）（船客ヲ搭載セス）

丹後丸（米國行）　同日正午十二時神戸出帆、同二十六日午後二時横濱出帆、ビクトリア、シアトル行

右兩地ニ於テ桑港、タコマ、ポートランド、バンクーバー、組育其他合衆國及歐洲各地行汽車、汽船ニ接續スルニ付キ各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス（米國行三等乘船申込ハ出帆當日三日前迄トス）

長門丸　同二十四日午後二時神戸出帆、大連行（宇品、門司經由）

芝罘丸　同二十七日午前十時神戸出帆、芝罘、大沽、牛莊行（宇品、門司經由）

錫蘭丸　七月四日午前神戸出帆、門司、漢口、上海、香港、マニラ、新嘉坡、コロンボ、蘇士、坡西士、ゼノア、倫敦、安士府行（船客ヲ搭載セス）

塞灣航路　神戸發正午

西京丸	毎月三十八日	門司著發	基隆著	七月二十二日
木船	毎日	函館（直航）著	函館止ノ	四月十九日

木船ハ神戸ニテ鐵道橋繫留ニ付キ同所ニテ切符購入御乘船ノ便アリ

毎日　午前三時　午前三時　午前十時半　午後三時　正午十二時

○大阪商船株式會社汽船神戸筑出發表

韓國行　明十五日午前十時大阪出帆、同日午後三時神戸出帆、門司、下關、釜山、木浦、群山、仁川行

安東丸　本月十八日午前十時大阪出帆、同日午後三時神戸出帆、門司、下關、釜山、元山行

千賀丸　同十九日午前十時大阪出帆、同日午後三時神戸出帆、門司、下關、釜山、木浦、群山、仁川行

清國行　大仁丸　明十五日正午十二時大阪出帆、明後十六日午前十時神戸出帆、門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留スル）

勝山丸　明後十六日午前八時大阪出帆、門司、仁川、大連行

天草丸　本月十八日正午十二時大阪出帆、門司、同十九日午前十時神戸出帆、門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留スル）

大智丸　同二十日午前九時大阪出帆、同二十一日午前十時神戸出帆、門司、芝罘、天津行（天津ハ居留地河岸ニ繫留スル）

大幾丸　同二十二日正午十二時大阪出帆、同二十三日午前十時神戸出帆、門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留スル）

恒春丸　明後十六日午後三時横濱出帆、本月十九日正午十二時神戸出帆、宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行（船客ヲ搭載セス）

彰化丸　本月十八日横濱出帆、同二十二日神戸出帆、門司、基隆、安平、打狗行（船客ヲ搭載セス）

臺南丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆、門司、基隆行

臺中丸　毎月十五、三十日正午十二時神戸出帆、門司、基隆行

浦潮斯德行

開城丸　本月十八日午後六時敦賀出帆、同二十日浦潮斯德著

韓國清國臺灣沖繩行船客ニシテ大阪又ハ神戸ヨリ御乘船ノ方ニハ東京横濱代理店鉛ニ兩市內出札所ニテ乘船切符發賣ス

○附錄　今十四日發刊綴任及辭令七頁

第71186号

官報第七千百八十六號附錄

○敍任及辭令

本欄敍賜ノ項ニ「七級（年金一〇〇）旭八等」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ功七級金鵄勳章竝ニ年金百圓及勳八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等（一五〇）」トアルハ同シク勳八等白色桐葉章及金百五十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又賜金ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ發帙清瀚ニ渉ルヲ以テ其要略ノミヲ掲グ其他皆此例ニ倣フ

陸海軍軍人軍屬ニシテ前項ノ賞與ヲ受ケタル者ハ總テ明治三十七八年從軍記章ヲ授與セラル

○明治三十九年四月一日

敍賜		陸軍官等位勳功爵	氏名
勳等		工兵大尉從六位勳四等	松木武次
旭小綬章	賜金一五〇〇	陸軍官等位勳功爵三等軍醫正八位	氏名 鈴木信道
一〇〇		魂兵中尉從七位	中島清次郎
敍賜		陸軍官等位勳功爵	氏名
功級（年金一〇〇）旭八等	勳等	元歩兵一等卒	島田與次郎
七級（年金一〇〇）旭八等	同	歩兵一等卒	國本柳太郎
同	同	同	山下櫛松
同	同	同	戸梶作治
同	同	同	山崎嘉吉
同	同	歩兵伍長	桑原嘉太郎
同	同	歩兵一等卒	東川彌之助
同	旭七等	歩兵伍長	山崎安馬
七級（年金一〇〇）旭八等		歩兵上等兵	平太郎
七級（年金一〇〇）旭八等		歩兵上等兵	佐久間長太郎
七級（年金一〇〇）旭八等		輜重兵上等兵	小久保新助
敍賜	勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名
旭八等	賜金一〇〇	歩兵一等卒	山本久吉
同	一五〇	歩兵伍長	田中梅吉
同	一〇〇	輜重輜卒	古賀馬吉
同	一八〇	歩兵軍曹	野村武一
瑞八等	八〇	輜重輜卒	山本乘藏
旭八等	一〇〇	歩兵一等卒	戸高喬一
同	同	同	輜重輜卒
同	同	同	輜重輜卒
同	同	同	輜重輜卒

級	賜	氏名
勳等 旭八等	賜金一〇〇	陸軍官等位勳功爵
同	同	歩兵上等兵 久保留吉
同	同	同 曽我愛之助
同	同	同 笹岡百馬
同	同	同 谷川直松
同	同	同 西森兼弥
同	同	歩兵二等卒 黒岩助
同	同	歩兵上等兵 黒田繁馬
同	同	同 和田倉太郎
同	同	同 萬太郎
同	同	同 松下喜太郎
同	同	歩兵伍長 大崎重蔵
同	同	同 大橋仁太郎
同	同	歩兵一等卒 川崎三蔵
同	同	輜重輸卒 林雙作
同	同	同 岩田芳太郎
同	同	歩兵二等卒 石川伊三男
同	同	同 藤岡健吉
同	同	歩兵上等兵 石川榮吉
同	同	歩兵一等卒 越智定太郎
同	同	歩兵上等兵 田邊文太郎
同	同	陸軍官等位勳功爵 氏
同	同	歩兵一等卒 中西久次
同	同	歩兵二等卒 野崎正
同	同	歩兵一等卒 茜久吉
同	同	同 牧野鶴一
同	同	同 長谷川次郎
同	同	同 金子賓太郎
同	同	同 鹿島谷延蔵
同	同	輜重兵一等卒 森安治郎
同	同	輜重輸卒 竹野高藏
同	同	同 日野吉太郎
同	同	同 内藤武吉
同	同	同 梶原朝一
同	同	同 大川八郎
同	同	同 森八五郎
同	同	同 中尾重助
同	同	同 山中鹿之太郎
同	同	同 神野百太郎
同	同	同 水田藤蔵
同	同	同 梶川仲歩
同	同	同 大森西吉
同	同	同 朝倉駒之助
同	同	同 丑三郎
同	同	同 堤原五郎
同	同	同 栗尾武吉
同	同	同 竹野久蔵
同	同	同 吉岡清吉
同	同	同 高藏
同	同	同 安治郎
同	同	同 鹿島谷延蔵
同	同	同 森大太郎
同	同	同 中尾三郎
同	同	同 玉木今吉
同	同	同 岡尾豐信
同	同	同 猪尾金次郎
同	同	同 山本春次郎
同	同	同 小泉卯吉
同	同	同 河村和一郎
同	同	同 西嶺甚助
同	同	同 土居安太郎
同	同	同 小川北原
同	同	同 土屋菊川
同	同	同 永田上野
同	同	同 馬場孫市
同	同	同 槙野資善

級	賜	氏名
勳等 瑞八等	賜金七〇	陸軍官等位勳功爵
同	同	歩兵上等兵 秋葉乙助
同	同	同 福岡末五郎
同	同	同 永島十藏
同	同	同 師玉繁藏
同	同	歩兵二等卒 兒玉實德
同	同	歩兵上等兵 坂田與一
同	同	歩兵曹長勳八等 野崎作
同	同	輜重輸卒
同	同	同
同	同	同
同	同	同

等級	賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名
勳等	賜金	陸軍官等位勳功爵	氏名

八○
砲兵輜卒
福井 末廣
鶴村貞次郎
東城 政治
楊崎 守三
四日市重之
川崎仁太郎
畝本 清松
七○
古川 多一
吉村 龍平
木村勘右工門
七○
山中佐太郎
二○○
二○○
同（官職）（自藤沼至川村）
筑川 力藏
福井 末廣
鶴村貞次郎
東城 政吉
松崎 宇三
五日市重之
川崎伊太郎
町本 清松
同（官職）船木菊三郎 以下四十八人
戸川 多一
吉本 龍平
木村勘右衛門
以下四十八人
同（官職）澤田藤次郎
山中作太郎
同（官職）久保 榮吉
同（官職）小池 常十
若狭 長吉
水瀧 音吉
東田弥右衛門
田畑亀治郎
坂 直吉
駒澤亥之吉
刀祢 新吉
澤屋 武治
鈴木 由松
鳥山與五郎
岩崎 勝藏
尾山好次郎
中島種次郎
同（官職）清水 榮吉
同（官職）松田仙三郎
寺崎 英
本間 時藏
福
宇津志亀内
水谷與之助
加藤與三吉
進藤 源松
備後菊太郎
櫛巻玉次郎
横地 五市
高野 明衛
田邊 雅雄
鈴木 善作
小澤榮次郎
齊田圓太郎
末松安一郎
河原林卯三郎
同（官職）深草 芳松
三澤多左工門
八津谷和太郎
夏井嘉市郎
久保田卯吉
寺井 春吾
佐藤彦次郎
八○
同（官職）竹内新之助
伊藤彦次郎
寺井 春吾
白土 音知
山本 弥平
石川 冨吉
小森 武夫
島袋 滿
歩兵二等卒
歩兵二等卒
宮崎 英
本間 時藏
福
宇津志亀内
水谷與之助
加藤與三吉
進藤 源松
備後鈴太郎
櫛巻玉次郎
横地 五市
高野 明衛
田邊 雅雄
鈴木 善作
小野榮次郎
齊田圓太郎
末松安一郎
河原林卯三郎
深草 芳松
三澤多左工門
八津谷初太郎
夏井嘉市郎
久保田卯吉
寺井 春吾
伊藤彦次郎
白土 音松
山本 弥平
石川 冨吉
小林 武夫
島袋 滿
榊島卯之助
三笘 治六
松元金左工門
生山 文吾
山口嘉太郎
中尾庄三郎
山城亥之吉
上田 彌平
小畑 浪藏
近常多三次
島居 仲輔
鈴江 昶字
高田敬四郎
一八○八衍
奥野 惣市
大貫 惣七
歩兵一等卒
輪湖 義一
歩兵一等卒
寺村与惣吉
馬場与三吉
北川与三松
高橋与之助
勦八等八衍
中井太郎左工門
大石八左工門
山本弥治郎
三五○
福村兵右工門
旭八等
田代兼治郎
榊島卯之助
三笘 治六
松元金左衛門
生山 文吾
山口嘉太郎
中尾庄三郎
山城玄之吉
土田 彌平
小畑 浪藏
近常多三治
島井 仲輔
鈴江 昶字
高田啓四郎
中島傳一郎
奥野 惣平
大貫 惣七
宮澤 清一
輪湖 義一
寺村與惣吉
馬場與三吉
北川與三松
高橋與之助
（自岩崎至島本由之助）末吉
中井太郎左衛門
大石八左衛門
山本彌治郎
三○三非 介助
福村兵衛門
北川 傳藏
田代兼治郎
辻 文吾
軍曹
松本 丑松
冷水權左工門
笠原 善吉
野田 錫
磯部丈太郎
歩兵一等卒
歩兵一等卒
長瀨 萬市
新井 寅吉
八○
河合 徵
歩兵一等卒
稙田 熊雄
一五○
德田 米吉
宮川桂次良
三五○
秋山 甚三
淺子 仙藏
谷島 啓治
篠澤鍋太郎
神島 切
橋本 久吾
山田鐵治郎
瓜田 金藏
歩兵上等兵
角 宇之助
水洗 忠七
磯 勇吾
坪和市兵衛
辻 文吉
辻本 留吉
杉本 丑松
冷水權左衛門
笠原 兼吉
野田 錫
磯部丈太郎
吉村 末吉
北島 歐一
長瀨 萬市
新井 寅治
五○ 岡島 常藏
河合 徵
鈴水 万作
植田 熊雄
二五○ 佐藤長次郎
福田 米吉
宮川桂之良
三○ 竹内久馬吉
秀山 甚三
淺子 仲藏
島谷 啓治
藤澤鍋太郎
神島 功
橋本 久吉
山田鐵治郎
瓜田 金藏
同（官職）小濱常次郎
角 宇之助
水洗 忠一
磯 勇吉
坪和市兵郎

安喰貫次郎
駒木根 文治
上田 政雄
園田千太郎
柳澤 彦一
白崎 鷲
坂倉馬次郎
岡部 角松
小室 彌介
渡邊三五郎
五○
澤村幸五郎
藤井 寅松
五○
五○
七○
野原 喜作
細井 眞一
自吉 泰吾
宮島 俊
八○
殘間 文治
石川嘉右工門
佐々木与七
鐵田 彌吉
綱代 吉松
池部 久平
伊東山次郎
三五○
平田 玉吉
津田瓦次郎
安食貫次郎（三九、八、三〇）
駒木根 文治（三九、一〇、三〇）
上田 政雄（三九、一、一、五）
園田千太郎（三九、一、一、五）
柳澤 彦一（四〇、六、四、八、二四）
白崎 鷲（三九、八、三〇）
坂倉馬次郎 以下三人（四〇、三、一、三）
岡部 角松（三九、一、一、七）
小室 彌介（三九、一、一、七）
渡邊三五郎（三九、一、一、五）
同（官職）表谷巳之吉（三九、一、一、四）
深村幸五郎（三九、一、一、八）
藤井 留松（三九、一、一、六）
同（官職）新川利喜也（四七、一、一、四）
同（官職）田中彌三松（四七、一、一、四）
同（官職）戎田 亦久（四七、一、一、四）
同（官職）鈴木 鄰吾 以下三人（四〇、三、一）
原野 喜作（四〇、三、四）
細川 眞一（三九、八、二九）
白吉 泰吉（三九、八、二五）
宮島 俊（三九、八、二五）
同（官職）仮岡 萬三（三九、八、一〇、二八）
殘間 文治（三九、八、二二）
石川嘉右衛門（三九、八、一七）
佐々木與七（三九、八、二三）
鐵田 彌吉（三九、八、二五）
綱代 吉松（三九、一、一、二六）
池部 久平（五一、九、二六）
伊東吉次郎（四〇、七、一、三、四）
三○○ 陶淚 歐太（三九、一、一、一〇）
平田 玉吉（三九、八、一〇）
津田瓦次郎（三九、一、五、四、八、二〇）
糀谷 與一
歩兵一等卒
同（官職）谷 增太郎（三九、八、二〇）
小野彌一郎
外野彌一郎（三九、九、八、二一）
榎本 善作（三九、一、一、六）
吉田 雙記（四〇、一、一〇、八）
山藏惣兵衛（三九、一、六、二、九、五）
小林 茂松（三九、一〇、二二）
大東 藏吉（三九、一、一、四）
定水 廣次（三九、一、一、九、二八）
下坂 桑助（三九、一〇、一〇）
田村 藤助（三九、一、一、三）
歩兵 大槻 榮藏（三七、四、八、八）
植田榮之助（四六、九、八、三〇）
東別府彦太郎（三九、一、一、六）
戸野 嘉八（四五、九、八、三〇）
玉井 益治（三九、四、八、二）
村山 留吉（三九、八、二）
石川 甚作（四九、一、二、八、二）
渡邊福太郎（三七、三、一〇、一六）
同（官職）寺戸 榮治（三九、八、二）
同（官職）池本 並平（三九、八、二）
同（官職）岡本 甚平（三九、八、二）
同（官職）濱田 眞吉（三九、八、二）
木藤德太郎（三九、八、二）
永久 多市（三九、八、二）
竹村 敬二（四〇、三、六）
石田福三郎（三九、一、一、七）
中井巳之助（三七、一、一、七）
西浦奈良吉（三七、一、一、九）
金野昌五郎（四五、一、一、六）
浦島藤太郎（三九、一、一、七）
林忠右衛門（三七、一、八、一三）

第7186号 官報 明治40年6月14日